事務事業コード 001000 重点施策 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 放課後子ども教室推進事業 所属名 教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

	T'ID TK									
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分			
置計	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ	き、すべてのひとが	住みやすいまち	事業期間	平成19年度 ~ 全期			
位置では	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづくり)	根拠法令、				
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	醸成	根拠法市、根拠計画等					
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山画寺				
目施 世策	「魅力ある学校づくり	〕」を肯定的	こ思う児童・生徒の割合	85%	90%	事業分類区分	ソフト(義務)			
標の	不登校児童·生徒	童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	運営方法	直営			
0)	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計			
予算	予算事業名 放調	予算事業名 放課後子ども教室推進事業費(学校				予算事業コード	01-09-04-02-17-01			

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> 2. 争未日的</u>	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	小学校児童・保護者
意図 (どのような状態 にするために)	小学校区において放課後や週末等に、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動・体験活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境作りを推進する。
手段 (どうするのか)	小学校の空き教室や小学校近隣の公共施設等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の 様々な資質を有する多くの大人の参画を得て子ども教室を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> </u>	予不い	十尺川山凹	· 夫楨 【PLAN·DO】				収り組みを間係に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画 年度別実績		①放課後子ども教室の 設置 ②放課後児童クラブと の連携	①放課後子ども教室の 設置 ②放課後児童クラブと の連携	①放課後子ども教室の 設置 ②放課後児童クラブと の連携	①放課後子ども教室の 設置 ②放課後児童クラブと の連携	①放課後子ども教室の 設置 ②放課後児童クラブと の連携
拉			①放課後子ども教室の 設置(明治小・神戸小・東郷小・米里小) ②放課後児童グラブと の連携(米里小)	①放課後子ども教室の 設置(明治小・神戸小・東郷小・米里小) ・東郷小・米里小) ②放課後児童クラブと の連携(米里小)	①放課後子ども教室の 設置(明治小・神戸 小・東郷小・久松小・ 米里小) ②放課後児童クラブとの 連携(米里小・久松小)		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	13,452	13,554	14,060	0	0
_	直接	経費 A	6,233	6,235	6,817	0	0
事業	+ 1 + 47	国·県	4,470	4,089	2,101	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
~	質の別源内訳	その他	0	0	0	0	0
	111311 B III 1	一般財源	1,763	2,146	4,716	0	0
	人作	牛費 B	7,219	7,319	7,243	0	0
中中	員数の	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	貝剱の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	7/01	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4.	貧淵	を投入することで実施した活動の大き	さを表	5 指標	[PLAN·DO]						
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
		【KPI】放課後子ども教室設置数	箇所	目標	3	5	5	5	5		
	1		直の	実績	4	4	5	0	0		
,_		(指標の説明) 放課後子ども教室の設置されている小学校数(基準値は平成26年度時点)									
活動				目標	0	0	0	0	0		
指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
121				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	【KPI】放課後子ども教室設置数	133%	80%	100%		
標達成	2						
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未 満: 上回る」、「80%~100%以下: 目標どおり」、 「50%~80%未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る	

	■ 1. 拡充	■ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然	増加 □ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	上 □ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	☆ □ 5-3 制度的に終了
	た、放課後児童クラブと連携した	開設すると共に、放課後児童対策事 子ども教室の開設要望があれば検討	業が未実施の校区で、必要性や地域性を考慮し開設を検討する。ま する。

 事務事業コート
 001100
 重点施策
 該当なし
 平成30年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域教育力向上モデル事業
 所属名
 教育委員会事務局
 学校教育課

1. 基本情報

	IT TA									
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分			
置計	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ	き、すべてのひとが	住みやすいまち	事業期間	平成28年度 ~ 平成30年度			
位置では	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづくり)	根拠法令、				
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	醸成	依拠法市、 根拠計画等					
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	化灰山画寺				
目施 目策	「魅力ある学校づくり	〕」を肯定的に	に思う児童・生徒の割合	85%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)			
標页の	不登校児童・生徒(の出現率		3.60%	2.50%	運営方法	直営			
0,	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計			
予算	予算事業名 地場	事業名 地域教育力向上モデル事業費				予算事業コード	01-09-04-02-19-01			

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> 2. 尹未日的</u>	[FLAN]
対象 (何を、誰を)	小学校児童
意図 (どのような状態 にするために)	放課後や週末等に、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動・体験活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境作りを推進する。
手段 (どうするのか)	地域の方々に支えられて、放課後児童クラブに通う児童も含めたすべての子どもたちに学習や多様な体験活動を行う居場所づくりを確保し、放課後児童クラブと一体的または連携した総合的な放課後における健全育成を推進する。

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の耳	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容			①地域の方々に支えられて、放課後児童クラ れて、放課後児童クラ すに通う児童も含めた すべての子どもたちに 学習や多様な体験活動 を行う居場所づくりを 確保し、放課後児童ク ラブと一体的または連 携する	①モデル事業の継続	①モデル事業の継続		
T	年度	E別実績	①米里小学校で実施	①米里小学校で実施	①米里小学校で実施		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	7,989	7,374	7,283	0	0
+	直接	経費 A	770	55	40	0	0
事業	+++ 47	国·県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
_	順内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	770	55	40	0	0
	人作	牛費 B	7,219	7,319	7,243	0	0
田中	員数の	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	貝剱の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	אמניו	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		子ども教室入級児童数	Y	目標	46	48	45	0	0
	1		八	実績	46	49	37	0	0
ът.		(指標の説明) 子ども教室入級児童数	ζ						
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
IN				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)	•						

5. 平成30年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り	り組みを具体的	的に記入(予算	事務事業の事業	(うら) 業概要と連動)		
	【問合せ先】学務係 0	0857-30-8411						
	【10次総の施策体系】	1102						
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算(掲載なし)							
	【事業の概要】 地域の方々に支えら∤	れて、放課後 児	見童クラブに〕	通う児童も含め	かたすべての子	どもたちに		
	地域の方々に支えられて、放課後児童クラブに通う児童も含めたすべての子どもたちに 学習や多様な体験活動を行う居場所づくりを確保し、放課後児童クラブと一体的または連 携した総合的な放課後における健全育成を推進する。							
	【事業の成果】 平成28年度:771		28年10月。	より米里小学校	交で実施)			
事務事業の実施概要	平成 2 9 年度 : 5 5 平成 3 0 年度 : 4 0	5 千円 0 千円						
	【今後の課題・方向性】 学校運営委員会で開設 年度~平成30年度まで	殳要望のあった		で試験的に実施	色することとし	,、平成 2 8		
	+IX IX 3 0 +IX 6 (C V) C) /V 子 A	(C) 0°					
6. 活動指標の達成率【CHECK】								
指標名	ㅋ	₽成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
子ども教室入級児童数 指 1		100%	102%	82%				
標 達 2								
成								
 ※達成率は指標の目標値と実績		標値がOの年	度は表示さ	れません。				
7. 評価【CHECK】								
評価項目と評価の視点	評価内容		評価理由(評	価の視点を踏っ	まえて記入)			
	計画を上回る計画どおり							
	事業未完了							
当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。								
■ <u>事</u> = (/) b/ 里	目標を大幅に上回る							
	目標を上回る概ね目標どおり							
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 50%~80%~第200%以下:目標どおり」、 50%~80%~第一下回る」、「50%~第一大幅厂	目標を下回る							
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	目標を大幅に下回る							
8. 事業の成果を踏まえた今後の方向	5性【ACTION】							
□ 1.	拡充 □ 1-	-1 意図的に		□ 4-1 意図				
		-2 制度的に -1 手段等の			E的に自然減少 F実施等、意図I			
□ 4.	縮小 □ 2-	-2 効率化、簡	簡素化	■ 5-2 意図	図的に廃止	- J. — P		
学校運営	休止、廃止、終了 □ 2- 委員会で開設要望のあった米里小学	-3 他事業との		□ 5-3 制度 成28年度~平成30年		きとする。		
担当課長の評価コメント								

事務事業コート 001200 **重点施策** 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 中山間地域ふるさと体験活動支援事業 所属名 教育委員会事務局 学校教育課

1	其本	害報

位総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
総合計画の	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	き、すべてのひとが	住みやすいまち	事業期間	平成21年度 ~ 全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			
17 O	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	教育の充実・郷土愛の醸成			
+/-		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	根拠計画等	
目施	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合			85%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	不登校児童・生徒の出現率			3.60%	2.50%	運営方法	直営
0,	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 中山	山間地域ふ	るさと体験活動支援事業	業 費		予算事業コード	01-09-01-03-84-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童
意図 (どのような状態 にするために)	豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさや人のあたたかさを心や体に刻み込む原体験を行う。
手段 (どうするのか)	佐治町の民家での農林家暮らし体験を中心としながら、林業体験や和紙づくり体験などの自然体験・文化体験活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

×在	度別の)取り組み	4を簡潔	に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度	E別計画	①佐治町の農山村及び 新市域の農山村での生 活体験活動	①佐治町の農山村及び 新市域の農山村での生 活体験活動	①佐治町の農山村及び 新市域の農山村での生 活体験活動	①佐治町の農山村及び 新市域の農山村での生 活体験活動	①佐治町の農山村及び 新市域の農山村での生 活体験活動
谷	年度	 野実績	①市内25校が実施	①市内24校が実施	①市内13校が実施		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	19,961	19,222	15,403	0	0
事	直接	経費 A	12,742	11,903	8,160	0	0
業	直接経	国・県	0	2,917	1,943	0	0
費	豊田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	地方債	12,700	8,900	6,200	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	42	86	17	0	0
	人作	牛費 B	7,219	7,319	7,243	0	0
韷	員数の	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

	J. 111.	ではスパッもことで大心した旧刻の人と		/ 1H I/N					
	指標名		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		農山村生活体験活動の実施校数	校	目標	25	30	15	18	18
	1		110	実績	25	24	13	0	0
·-		(指標の説明) 農山村生活体験活動の	の実施を	交数					
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
IVI				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

令和2年度

		(95)
5	. 平成30年度の事務事業実施概要	
		【問合せ先】指導係 0857-30-8412
		【 1 0 次総の施策体系】1102
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P 2 4 4 (教 0 2 4)
		【事業の概要】 児童が、佐治町の農山村での生活体験を通じて、豊かな人間性や社会性などを育むとと もに、ふるさとの自然や文化のすばらしさ、人のあたたかさを心や体に刻み込む原体験と なることを期待して実施する。
	事務事業の実施概要	【事業の成果】 佐治町内で小学生が2泊3日(5年生)の体験活動を行う(4年生は1泊2日)。 農林家暮らし体験、林業体験、郷土料理づくり体験、魚のつかみどり体験、 和紙づくり体験、星空観察、座禅体験、座禅体験、佐治谷話し など 平成28年度:小学校25校 平成29年度:小学校24校 平成30年度:小学校13校
		【今後の課題・方向性】 新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していくため、今後も計画的に実施し ていくことが大切である。
6	. 活動指標の達成率【CHECK】	
O	・心刬徂信の注水学(しつこしん)	

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7 評価【CHECK】

指標達成率 3

2

3

農山村生活体験活動の実施校数

/. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	市バスの廃止により、バス代補助がどのようになるか決定されない中で、希望校が減少したと思われる。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよ うな進捗状況となったか。	■ 3. 事業未完了	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未 満: 上回る」、「80%~100%以下: 目標どおり」、 「50%~80%未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	□ 4. 目標を下回る	

平成28年度

100%

平成30年度

87%

平成31年度

平成29年度

80%

8.	事業の成果を踏まえた今後の方向性	[ACTION]
Ο.	サネツルへと叫られた / 区ツカロエ	LACITOIN

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	新市の豊かな地域資源を活用した	教育活動を支援していくため、本事業は継続	していく必要がある。
(「今後の方向性」を判断した理由が			
わかるよう、数値等を用いた具体的			
な成果と、今後の改善プランを記載)			

 事務事業コート
 001300
 重点施策
 該当なし
 平成30年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域で育む学校支援ボランティア事業
 所属名
 教育委員会事務局
 学校教育課

1. 基本情報

	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置では	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	き、すべてのひとが	住みやすいまち	事業期間	平成24年度 ~ 平成31年度
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづくり	根拠法令、		
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	醸成	根拠法市、根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山画寺	
目施 目策	「魅力ある学校づくり	魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	運営方法	直営	
0)	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 地場	或で育む学	校支援ボランティア事業			予算事業コード	01-09-01-03-98-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	小学校、中学校、義務教育学校
意図 (どのような状態 にするために)	学校と地域が協働しながら、児童生徒へのきめ細かな指導や安全安心な学校生活の支援を行う。
手段 (どうするのか)	小・中・義務教育学校に配置されたコーディネーターが活動をコーディネートし、地域のボランティアが児童生徒の生活・学習支援や学校の環境整備・安全パトロールなどの活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		1,2,7,11,1	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画 生 年度別実績		①学習・生活支援や環境整備、安全パトロールなどのボランティア活動とそのコーディネート	①ボランティアによる 学校支援 ②コーディネーターの 配置	①学習・生活支援や環 境整備、安全パトロー ルなどのボランティア 活動とそのコーディネ ート	①学習・生活支援や環境整備、安全パトロールなどのボランティア活動とそのコーディネート	
T			①・学習生活支援ボランティア・授業補助・登下校の見守り・環境整備②・ボランティアのコーディネート、連絡調整・研修会参加	①・学習生活支援ボランテイア ・授業補助 ・読み聞かせ ・登下校の見守り ・環境整備 ②・ボラティアのコーディネー ト連絡調整 ・研修会参加	①・学習生活支援ボランディア・ ・授業補助・ ・競斗関かせ・登下校の見守り・ ・環境整備・ ・ボランディアのコーディネート、連絡調整・ ・研修会参加		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費	費(A+B)	15,769	12,629	10,888	0	0
事	直接	経費 A	8,550	5,310	3,645	0	0
業	±+±.4∇	国・県	8,550	5,310	3,645	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源		0	0	0	0
	人作	牛費 B	7,219	7,319	7,243	0	0
膱	員数の	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

<u> </u>	54111	ではスパッのことに大心した石刻の八つ	<u> </u>	7 10 175					
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		実施小・中学校数	校	目標	48	29	20	12	0
	1		110	実績	48	29	20	0	0
		(指標の説明) 実施小・中学校数							
活	2			目標	0	0	0	0	0
動指				実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
IN				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

	(うら
5. 平成30年度の事務事業実施概要	【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動
事務事業の実施概要	【問合せ先】指導係 0857-30-8412 【10次総の施策体系】1102 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算(掲載なし) 【事業の概要】 1 ボランティアによる学校支援 学習・生活支援ボランティア(小学校1~3年生) 授業補助、読み聞かせ、登下校の見守り、環境整備 等 2 コーディネーターの配置 ボランティアのコーディネート、連絡調整、研修会参加 【事業の成果】 1 地域と学校の協働による、児童生徒へのきめ細かな指導や安全安心な学校生活が行われるようになった。 2 コーディネーターの配置により、地域が学校に主体的にかかわるようになり、スムーズにボランティア活動が行われるようになった。 【事業費実績額] 平成28年度 8,550千円 平成29年度 5,310千円 平成29年度 5,310千円 平成30年度 3,645千円 【今後の課題・方向性】 地域住民を中心としたボランティア活動は、児童生徒へのきめ細かな対応や、安心・安全な学校生活を実現し、学校の大きな支援につながっている。その活動を長年ボランティアコーディネーターをは学校生活を実現し、学校の大きな支援につながっている。その活動を長年ボランティアコーディネーターをは学校生活を実現し、学校の大きな支援につながっている。テント・カー・ディネーターとしての役割はますます重要となりつつも、同じような役割を持つ仕組みも導入されつつあり、役割を整理しつつ仕組み作りも検討しながら生進していく必要があると考える。

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	実施小·中学校数	100%	100%	100%		
標達成	2						
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

/. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	■ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよ うな進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 1. 目標を大幅に上回る□ 2. 目標を上回る■ 3. 概ね目標どおり	
	□ 4. 目標を下回る	

	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
■ 担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が	がっている。)その活動を長年ボラネーターとしての役割はますます 討しながら推進していく必要があ	ランティアコー 重要となりつ:	ディネーターが支えてきた。オ	ホ市でもコニュ	校生活を実現し、学校への大きな支援につな ニティ・スクールの設置が進み、コーディ いつつあり、役割を整理しつつ仕組み作りも検

事務事業コート 001400 **重点施策** 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 自立と創造の学校づくり推進事業 所属名 教育委員会事務局 学校教育課

1	其本	害報

位 総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
総合計画の	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	き、すべてのひとが	、すべてのひとが住みやすいまち		全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			根拠法令、	
17 O	施策	1102	教育の充実・郷土愛の)醸成		根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	中国间域划	
目施	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)	
標の	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	運営方法	直営	
0,	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名 白	たと創造の学	学校づくり推進事業費			予算事業コード	01-09-01-03-36-03

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	市立小・中・義務教育学校が児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえ、自立し創意工夫 ある学校づくりを進展させることにより、教育目標の達成を図る。
手段 (どうするのか)	学校が企画した教育活動及び取組内容に応じて、裁量の予算を拡充し、意欲や工夫・考え方を審査して予算配分 する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の	り取り組の	みを簡潔	に記入

			平成28年度	平成29年度	半成30年度	半成31年度	令和2年度
内容	年度別計画 生 生 年度別実績		①実施計画に基づく予 算配分	①実施計画に基づく予 算配分	①実施計画に基づく予 算配分	①実施計画に基づく予 算配分	①実施計画に基づく予 算配分
12			①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	①実施計画に基づく予算配分・一律支援予算・特別支援予算・人材活用支援予算・人材活用支援予算・		
	区分		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	26,350	24,839	25,576	0	0
事	直接	経費 A	19,131	17,520	18,333	0	0
業	.±.+±.4∇	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	19,131	17,520	18,333	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
	人作	牛費 B	7,219	7,319	7,243	0	0
쁨	員数の	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1 '	34/1	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		実施学校数	校	目標	62	62	58	58	56	
	1			実績	62	62	58	0	0	
,т		指標の説明)計画書に基づいて特色ある取組を実施した小・中・義務教育学校数								
活動	2			目標	0	0	0	0	0	
指				実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
12K				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								

						(うら
5. 平成30年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り組	みを具体的に記	入(予算事務事	事業の事業概要	と連動 きょうしょう しょうしょ しょうしょ しょう かんしょ しょう かんしょ しょう かんしょ しょう しょう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゃく しゅうしゃく しゅうしゅう しゅうしゃく しゅうしゅう しゅうしゃく しゃく しゅうしゃく しゃく しゅうしゃく しゅう しゅうしゃく しゅうしゃく しゅうしゃく しゅうしゃく しゅうしゃく しゅう
事務事業の実施概要	【【【 、 成現基業工た【 常 に い〔 【 そ価針門1予予事本学1在づは夫上事 児の 特対 学て事平今本れがで合り算算業事校6地き、、で業一童教特色し人校予業成後事ぞ大あと総上業概は提度に目の主必成支生活支る評活育配実年課にの高。】のの別要、出よ開標よ的要果援徒動援学価用活分績度題よ学い指施経概)従すりか違うなな】予算につ算づ査援へる〕 19 、及業での高の開展、出よ開標よ的要果援徒動援学価用活分績度題よ学い事策過要 来る実れ成な取予 算につ算づ査援へる」 1,向創びでのの系 次 り施し特の校にを よじてよりを算地 31性意地あ他	 計1102 注2 注3 注4 注5 注5 注6 注6 注6 注7 注6 注7 20 10 11 12 12 12 12 12 13 14 15 16 17 18 19 19 10 10<!--</td--><td>色じ を学た企 、運 画分 、 進特内 あて 実校め画 従営 立す 広 17 さ色容 すり すど 案 よき し。 社 20 てる見 で で まる く 15 れあの が引 た行校行 効予 計 で 円 り校し で のう長い 果算 画 活 パンと</td><td>りる 、こ裁、 的と 書 躍 平 児く改進法 学がの育 展て も る 30 生がを事を 校求予委 開配 と 先 年 徒進図 業導 のめ算員 さ分 に 輩 度 のんり 業の のの のの</td><td>で 育れ拡が で 教。学査 本 で 教。学査 本 の の の の の の の の の の の の の</td><td>り 方ののを び る 業 よら、 針事創行 に 事 に りも平 に 意っ 日 業 つ 、評</td>	色じ を学た企 、運 画分 、 進特内 あて 実校め画 従営 立す 広 17 さ色容 すり すど 案 よき し。 社 20 てる見 で で まる く 15 れあの が引 た行校行 効予 計 で 円 り校し で のう長い 果算 画 活 パンと	りる 、こ裁、 的と 書 躍 平 児く改進法 学がの育 展て も る 30 生がを事を 校求予委 開配 と 先 年 徒進図 業導 のめ算員 さ分 に 輩 度 のんり 業の のの	で 育れ拡が で 教。学査 本 で 教。学査 本 の の の の の の の の の の の の の	り 方ののを び る 業 よら、 針事創行 に 事 に りも平 に 意っ 日 業 つ 、評

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指槽	1	実施学校数	100%	100%	100%		
標達成	2						
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 1. 目標を大幅に上回る□ 2. 目標を上回る■ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~ 80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」 ※最も達成度の低い指標で評価	□ 4. 目標を下回る□ 5. 目標を大幅に下回る	

<u> </u>					
	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	創造の学校づくり」の上で十分な				色ある教育活動が推進されており、「自立と として今後も継続して実施したい。

 事務事業コード
 001500
 重点施策
 該当なし
 平成30年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 学力向上推進事業
 所属名
 教育委員会事務局
 学校教育課

1. 基本情報

1. 0	総 体系区分 コード 名 称 単 事業区分名称 区分									
位 総	体系区分	コード		事業区分名称	区分					
位置づけ	☆ まちづくりの目標 10 安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち				事業期間	全期				
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづくり)	根拠法令、				
けの	施策	1102 教育の充実・郷土愛の醸成				根拠法市、根拠計画等				
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山画寺				
目施	「魅力ある学校づくり	〕」を肯定的に	に思う児童・生徒の割合	85%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)			
標の	不登校児童·生徒	の出現率		3.60%	2.50%	運営方法	直営			
0,	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人	会計区分	一般会計				
予算	予算事業名 学	り向上推進	事業費			予算事業コード	01-09-01-03-52-01			

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

2. 争耒日的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	小・中・義務教育学校児童生徒
意図 (どのような状態 にするために)	児童生徒個々が「確かな学力」を身につける。
手段 (どうするのか)	基礎学力の定着と学力の向上に向けた全市的な施策を実施する。

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
	7 2/4-1	1,2,,,,,,	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内	年度別計画		①基礎学力定着支援事 業	①基礎学力定着支援事 業	①基礎学力定着支援事 業	①基礎学力定着支援事 業	①基礎学力定着支援事 業
容			①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託	①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託	①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業領	貴(A+B)	17,114	17,133	11,413	0	0
+	直接	経費 A	9,895	9,814	4,170	0	0
事業	±+±47	国・県	0	0	0	0	0
	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
_	源内訳	その他	9,895	9,814	4,170	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
	人	牛費 B	7,219	7,319	7,243	0	0
融	員数の	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	_{貝奴の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数	口	目標	3100	3100	2900	2900	2800
	1			実績	2628	2800	2462	0	0
:=		(指標の説明) 地域の人材(講師)を活	舌用した	事業の	実施回数				
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明) 学力向上推進事業の	委託数						
""				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)参加する児童生徒数							

5.	平成30年度の事務事業実施概要	[DO]
		【問合

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

【問合せ先】指導係 0857-30-8412

【10次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】

予算事業別概要目次: 当初予算・P242(教020)

【事業の概要】

本市は全国学力・学習状況調査で良好な状況を維持しているが、個々の児童・生徒の学力の分布状況や課題を分析する中で、基礎・基本事項の定着が不十分な児童・生徒もある。地域の人材を活用しながら進める「基礎学力定着支援事業」により、「家庭や地域との連携」を図りながら学力向上に努めている。

【事業の成果】

事務事業の実施概要

地域人材を活用して実施しており、学校と地域の協働が進んだ。

特に、長期休業などで基礎・基本事項の定着が不十分な児童・生徒のみならず、多くの児童・生徒の学力向上や学習習慣の定着に効果が見られた。

〔事業費実績額〕

平成28年度 9,895千円 平成29年度 9,814千円 平成30年度 5,640千円

【今後の課題・方向性】

地域人材の確保が難しい地域もある。今後も、保護者や地域への情報発信を推し進め、 地域の声を反映させるとともに、地域人材を積極的に活用し、学校・保護者・地域が協働 した学力向上策を進めたい。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数	85%	90%	85%		
標達成	2						
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標とおり」 「50%~80%未満:大幅に 下回る」、「80%未満:大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	■ 3. 概ね目標どおり	実施回数は2,462回で、3,100回の目標に対して、実施率79.4%と80%をわずかに下回った。実施校は、全小・中・義務教育学校であって、すべての学校で活用された事業であった。今後は、どの学校も全50回を活用できるようにしていきたい。

0: 3: X: 5: 7/0/X C Ell 0: 7: E					
	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)	上策として継続していきたい。	施することとし	人、支援者も対象児童生徒数も	増加している。	今後もすべての児童生徒を対象とした学力向

事務事業コート 001600 重点施策 ひとづくり 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 未来のとっとり教育創造事業 所属名 教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
位置では	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ	き、すべてのひとが	事業期間	平成26年度 ~ 全期	
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	醸成	醸成		
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	根拠計画等	
目施 世策	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合			85%	90%	事業分類区分	建設、整備
標の	不登校児童・生徒の出現率			3.60%	2.50%	運営方法	直営
0)	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 未著	来のとっとり	教育創造事業費			予算事業コード	01-09-01-03-36-08

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

2. 尹未日的	(FLAIV)
対象 (何を、誰を)	3 指定中学校 2 指定中学校 2 指定中学校区
	地域創造学校(鳥取市版コミュニティ・スクール)、ICTの活用、魅力ある授業づくりによる学校不適応の解消を推進するために
手段 (どうするのか)	先進実践の取り組みを推進し、広く全市にその成果を還元する

3	. 事業の年度別計画	・実績 【PLAN・DO】			※年度別の	収り組みを簡潔に記入
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①先進校視察と研修視	①先進校視察と研修視	①先進校視察と研修視	①先進校視察と研修視	①先進校視察と研修視

内容	年度	E別計画	察報告会の実施	①先進校視察と研修視 察報告会の実施 ②学校運営協議会の実 施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視 察報告会の実施 ②学校運営協議会の実 施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視 察報告会の実施 ②学校運営協議会の実 施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視 察報告会の実施 ②学校運営協議会の実 施 ③授業研究会の実施
tr l	年度	E別実 績	①先進校視察と研修視 察報告会の実施 ②学校運営協議会の実 施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視 察報告会の実施 ②学校運営協議会の実 施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視 察報告会の実施 ②学校運営協議会の実 施 ③授業研究会の実施		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	9,590	9,442	8,337	0	0
事	直接	経費 A	2,371	2,123	1,094	0	0
業	±±±4∇	国∙県	0	628	200	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
^	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,371	1,495	894	0	0
	人作	牛費 B	7,219	7,319	7,243	0	0
賠	員数の	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	1 J LI/ C	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

<u>4.</u>	4. 貧源を投入することで美施した活動の大きさを表す指標 【								
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		【KPI】地域創造学校運営協議会(コミュニティ・スクール)設置校数	校	目標	6	6	6	58	56
	1			実績	8	8	10	0	0
\ ₋ -		(指標の説明) ≪H30にKPI見直し≫	ニティ・ス	クール導入校の	数				
活動		学校運営協議会の実施回数	П	目標	9	20	30	174	168
動指	2		ī	実績	18	45	60	0	0
標		(指標の説明) 地域創造学校の運営協議会の実施回数							
IN		研究授業の実施回数	П	目標	4	4	5	5	5
	3		ī	実績	5	5	5	0	0
		(指標の説明) ICTの活用、英語教育の研究授業の実施回数							

【問合せ先】指導係 0857-30-8412 【1 0 次総の施策体系】1102 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P 2 4 1 (教 0 1 7) 【事業の概要】 次の3 つの研究課題について学校を指定し、組織・教育内容・指導方法について先進的に実践し、各校へ広める。研究課題 保護者・地域とともに歩む魅力ある学校づくり研究課題 地域との協働による豊かな学びの創出研究課題 学びや学校生活を支える土台づくり 【事業の成果】 保護者や地域の方の参画による学校運営が広がり、コミュニティスクールとして運営する学校が増えている。また、I C T を活用した授業が他教科に広がったり、プログラミング教育に関する関心が高まったりしている。また、魅力ある授業づくりによる学校不適応の解消を推進するなど、先行実施の取り組みを行っている。 【事業費実績額】 平成 2 8 年度 2 , 3 7 1 千円 平成 2 9 年度 2 , 1 2 3 千円 平成 3 0 年度 1 , 0 9 4 千円 【今後の課題・方向性】 バイロット校を指定して、先駆的に取り組む本事業の内容については、適切に選択しながら充実を図っていきたい。	5.	平成30年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)
	5.	事務事業の実施概要	【【【【 に問うない は、 この に、 この	導係 0857-30-8412 策体系】1102 週】 要目次:当初予算・P 2 4 1 (教 0 1 7) 究課題について学校を指定し、組織・教育内容・指導方法について先進的 へ広める。 とともに歩む魅力ある学校づくり による豊かな学びの創出 活を支える土台づくり の方の参画による学校運営が広がり、コミュニティスクールとして運営すいる。また、I C T を活用した授業が他教科に広がったり、プログラミン関心が高まったりしている。また、魅力ある授業づくりによる学校不適応るなど、先行実施の取り組みを行っている。 額〕 2 , 3 7 1 千円 2 , 1 2 3 千円 1 , 0 9 4 千円 方向性】 を指定して、先駆的に取り組む本事業の内容については、適切に選択しな

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	【KPI】地域創造学校運営協議会(コミュニティ・スクール)設置校数	133%	133%	167%		
標達成	2	学校運営協議会の実施回数	200%	225%	200%		
率	3	研究授業の実施回数	125%	125%	100%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	■ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	保護者や地域の方の参画による学校運営が広がり、コミュニティスクールと して運営する学校が増えている。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり	
「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 4. 目標を下回る	

0. 3. N. 0. 170 N. C. E. O. C. C. 7 E.	<u> </u>				
	■ 1. 拡充	■ 1-1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)	<.	育を推進するだ	とめの事業であり、時代の要請	定応じてテーマ	を変えて、さらなる研究の拡充を図ってい

事務事業コード 001700 重点施策 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 特色ある中学校区創造事業 所属名 教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

	· ID IN						
位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
置合	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	き、すべてのひとが	事業期間	全期	
位置では	政策	01	豊かな心をもった、たく	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	醸成		根拠法令、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	中国市级对	
目施 目策	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合			85%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)
標页の	不登校児童・生徒の出現率			3.60%	2.50%	運営方法	外部委託
0,	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 特色	色ある中学権	交区創造事業費	区創造事業費			01-09-01-03-36-07

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> 4. 事未口的</u>	
対象 (何を、誰を)	市内全中学校区
意図 (どのような状態 にするために)	中学校区の特色ある取り組みを推進するために
手段 (どうするのか)	学校・保護者・地域で構成された推進委員会に委託

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度	E別計画	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、 共通実践 ③中学校区教育フォー ラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、 共通主牧 ③中学校区教育フォー ラムの実施	共通実践 ③中学校区教育フォー	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、 共通実践 ③中学校区教育フォー ラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、 共通実践 ③中学校区教育フォー ラムの実施
拉	年度別実績			①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、 共元実践 ③中学校区教育フォー ラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、 共選 ③中学校区教育フォー ラムの実施		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	11,219	10,949	10,803	0	0
事	直接	経費 A	4,000	3,630	3,560	0	0
業	直接経	国・県	0	0	0	0	0
費	世族社費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	4,000	755	3,560	0	0
		一般財源	0	2,875	0	0	0
<u> </u>	人作	牛費 B	7,219	7,319	7,243	0	0
膱	員数の	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

			単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度			
		【KPI】「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童の割合(小学校)	%	目標	90	90	90	95	95			
	1			実績	90	91	89	0	0			
,т			指標の説明)全市共通の4項目アンケート調査の結果(基準値(平成26年度)/小5~6:90%)									
活動		【KPI】「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う生徒の割合(中学校)	35生徒の割 %		85	85	85	90	90			
指	2		, ,	実績	88	88	87	0	0			
標		(指標の説明)全市共通の4項目アン	ケート調	査の結	果(基準値(平原	成26年度)/中	$1\sim 3:85\%$)					
1234		中学校区教育フォーラムの開催回数	校区	目標	17	17	17	17	17			
	3		仅区	実績	17	17	17	0	0			
		(指標の説明) 中学校区で開催する教	女育フォ	ーラムの	回数							

5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

【問合せ先】指導係 0857-30-8412

【10次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】

予算事業別概要目次: 当初予算・P240(教016)

【事業の概要】

本市では、義務教育9年間を見通した指導を行うことで、学力の向上や学校不適応の解消をめざす「小中一貫教育」を推進してきている。平成23年度からの3年間で、全中学校区が「めざす子ども像」を設定し推進体制を整えるとともに、合同研修会や児童生徒交流の実施、地域への情報発信等を行い、小・中学校のつながりを強めてきた。今後はその成果を踏まえ、中学校区が一体となって、より特色ある取組を総合的に推進することが大切である。

【事業の成果】

各中学校区が、地域や児童生徒の実態を踏まえ、特色ある取組を総合的に進め、「めざす子ども像」の実現を図るとともに、地域全体の教育力の向上につなげた。

幼保・小・中学校の一貫した取組

- ・学習意欲を高め確かな学力を身につける授業改善
- ・学校不適応の未然防止につながる魅力ある学校づくり 等

家庭・地域との連携による取組

- ・基本的生活習慣や学習習慣の育成のための啓発活動
- ・モラルやマナー・ルールを大切にする風土(人)づくり 等
- 地域の特色を生かした取組・地域の自然や文化、人材を生かした教育活動
- ・地域フォーラム、小中合同発表会等の開催 等

平成28年度:4,000千円 平成29年度:3,630千円 平成30年度:3,560千円

【今後の課題・方向性】

今後も各中学校区の特色ある取り組みを維持していきたい。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

事務事業の実施概要

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標	1	【KPI】「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童の割合(小学校)	100%	101%	99%		
標達成	2	【KPI】「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う生徒の割合(中学校)	104%	104%	102%		
率	3	中学校区教育フォーラムの開催回数	100%	100%	100%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

/. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:下回る」、「50%未満:下回る」、「50%未満:下回る」、「表しまで度の低い指標で評価	□ 1. 目標を大幅に上回る□ 2. 目標を上回る■ 3. 概ね目標どおり□ 4. 目標を下回る□ 5. 目標を大幅に下回る	

	■ 1. 拡充	■ 1-1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	そうの拡充を考えている。	まえると、学	交と地域の協力、幼・小・中の	連携は今後一層	軍要になる。本市の重点施策でもあり、いっ

 事務事業コート
 001800
 重点施策
 該当なし
 平成30年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域で学ぶ職場体験活動事業
 所属名
 教育委員会事務局
 学校教育課

1. 基本情報

	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
位置では	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ	き、すべてのひとが	住みやすいまち	事業期間	平成30年度 ~ 平成30年度
づ画	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづくり	根拠法令、		
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	醸成	根拠法市、根拠計画等		
+/-		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	似灰山画寺	
目施 目策	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	事業分類区分	その他	
標の	不登校児童·生徒	校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	運営方法	その他
0)	放課後児童クラブ	放課後児童クラブ数・受入人数			3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 地場	算事業名 地域で学ぶ職場体験活動事業費				予算事業コード	01-09-01-03-26-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	中学校生徒
意図 (どのような状態 にするために)	様々な社会体験活動を行う中で地域社会に学び、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる豊かな人間性や自ら課題を見つけて解決していこうとする意欲、態度を身につける。
手段 (どうするのか)	中学校 2 年生全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する 3 ~ 5 日間の体験活動を行う。

3.	事業の名	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度	別計画	①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動
ti	年度	別実績	市内全17中学校(第	①職場体験活動実施 市内全17中学校(第 2学年生徒)	①職場体験活動実施 市内全17中学校(第 2学年生徒)		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費	뢏(A+B)	9,142	9,311	9,210	0	0
事	直接	経費 A	1,923	1,992	1,967	0	0
業	.±.+±.4∇	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,923	1,992	1,967	0	0
	人作	牛費 B	7,219	7,319	7,243	0	0
融	員数の	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	_{貝奴の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
Ι '	- J L/ \	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		生徒アンケートの肯定的な回答率	%	目標	80	80	80	80	80
	1		/0	実績	93.5	95.1	95.3	0	0
,-		(指標の説明)体験活動後の生徒アン	ノケート		肯定的な回答	率			
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1,72				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

			(うら
ļ	5. 平成30年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動
	事務事業の実施概要	【 がた【 で〔	】 1102 : 当初予算・P 2 3 9 (教 0 1 4) クワクとっとり推進協議会」に委託して実施し、中学校 2 年生全員に分かれ、地域の事業所や施設等で連続する 3 ~ 5 日間を基本とし体験活動は、合併前からほとんどの市町村で取り組まれていた事業校全 1 7 校で実施している。 9 2 3 千円 9 9 2 千円 9 6 7 千円 】 育法の改正等では、「生きる力」を身に付け、しっかりとした勤労立する必要性が示されており、様々な社会体験活動を行うこ礎となるは、学校教育の中に保護者や地域のより、鳥取市教育ビジョンめざす子ども像「ふるさとを思いるもいう意識の高揚を図るとともに、学校教育の中に保護者や地域をもより、鳥取市教育ビジョンめざす子ども像「ふるさとを思いるもうとの受け入れなど学校の教職員以外の者が児童生徒の育成に携わるでの受け入れなど学校の教職員以外の者が児童生徒の育成に携わる

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	生徒アンケートの肯定的な回答率	117%	119%	119%		
標達成	2						
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7 評価【CHECK】

/. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上: 六幅に上回る」、「101%~150%未 第: 上回る」、「80%~100%以下: 日標とおり」、		
海:上回る」、180%~100%以下:目標とおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る	

	□ 1. 拡充	□ 1−1 意	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1 手	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 亥	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他			11322131 -173
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)		教育の充実や「ふ	るさとを思い 志をもつ子」	の育成を目的	とし、成果を上げ続けている。今後も継続し

事務事業コート゛ 001900 重点施策 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 鳥取市グローバル人材育成事業 所属名 教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置では	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ	き、すべてのひとが	事業期間	平成28年度 ~ 全期	
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづくり	根拠法令、		
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	醸成		根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山画寺	
目施 目策	「魅力ある学校づくり	〕」を肯定的に	こ思う児童・生徒の割合	85%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	不登校児童・生徒の出現率			3.60%	2.50%	運営方法	直営
0,	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 鳥耳	ベル人材育成事業費			予算事業コード	01-09-01-03-18-04	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

_	2. 争未日的	(FLAN)
	対 象 (何を、誰を)	次代を担う本市在住の中学生
	意図 (どのような状態 にするために)	多様な文化・歴史に触れ、人々と交流する機会を提供し、国際的感覚の優れた人材の育成
	手段 (どうするのか)	英語圏域であるシンガポールに派遣し、現地学校との交流やホームステイ、文化施設等の訪問プログラムを実施する。

3.	事業の	年度別計画	i·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	在住中学生を10名派 遺 年度別計画		在住中学生を10名派 在住中学生を20名派 在住中学生を20名派 遺 遺		①シンガポールに本市 在住中学生を20名派 遣	①英語圏に本市在住中 学生を20名派遣	①英語圏に本市在住中 学生を20名派遣
台	年度	 医別実績	①68名の応募者から 書類審査により20名 を選考。4回の事前研 修を経て、シンガポー ルに派遣。帰国後、事 後研修を実施し、報告 書を作成。	①57名の応募者から 書類審査により20名 を選考。4回の事前研 修を経て、シンガポー ルに派遣し、現地学校 との交流やホームステ イ、現地大学生との班 別研修等を実施。帰国 後、事後研修を実施し 報告書を作成。	①70名の応募者から 書類審査により20名 を選考。4回の事前研 修を経て、シンガポー ルに派遣し、現地学校 との交流やホームステ イ、現地大学生との班 別研修等を実施。帰国 後、事後研修を実施し、報告書を作成。		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	13,829	11,468	11,702	0	0
事	直接	経費 A	9,498	7,077	7,356	0	0
業	古拉奴	国∙県	0	0	0	0	0
	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	8,014	6,968	7,356	0	0
		一般財源	1,484	109	0	0	0
	人作	牛費 B	4,331	4,391	4,346	0	0
膱	員数の	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	- H. (臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		【KPI】実施中学校数	校	目標	3	3	0	0	0	
	1		12	実績	15	13	0	0	0	
,_		指標の説明) グローバル人材の育成に向けた英語等に特化したモデル校の設置								
活動	2	【KPI】中学生派遣人数	Į.	目標 実績	10	20	20	20	20	
指			八		20	20	20	0	0	
標		(指標の説明) 中学生の海外派遣								
IVA				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)	指標の説明)							

【問合せ先】校区審議室 0857-30-8405

【10次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】

予算事業別概要目次: 当初予算・P233(教002)

【事業の概要】

英語圏域であるシンガポールに市内在住の中学生を派遣し、現地学校との交流やホームステイ、現地大学生との班別研修、文化施設等の訪問などのプログラムを実施し、多様な文化と歴史に触れる短期間(5日間程度)研修を行う。

【事業の成果】

事務事業の実施概要

70名の応募者から書類審査により20名を選考。4回の事前研修を経て、シンガポールに派遣。帰国後、報告会を実施し、報告書を作成した。また、各中学校での報告会も行い、事業の成果を周知することができた。

(事業の実績)

平成28年度:9,498千円 平成29年度:7,078千円 平成30年度:7,357千円

【今後の課題・方向性】

より実効性を高める研修とするため、派遣先の検討、派遣中の研修プログラムを工夫することや、事前・事後研修の充実を図ることが必要であると考える。

その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金 その他財源の諸収入は、鳥取市グローバル人材育成事業参加負担金

6. 活動指標の達成率 【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	【KPI】実施中学校数	500%	433%			
標達成	2	【KPI】中学生派遣人数	200%	100%	100%		
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	予定していた時期に開催することができたため。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%は 満: 上回る」、「80%~100%以下: 目標どおり」、 「50%~80%未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	□ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る	予定していた人数の中学生を、選抜の上、派遣することができた。

	■ 1. 拡充	■ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	伝統や文化を尊重することの大切	さを学んだ。また、研修の成果を報告し、各株	豆いを尊重しあうことの素晴らしさを学ぶとともに、自国の 交の生徒に学びを広めることができた。引き続き、これから こ、工夫した取り組みにしていきたいと考える。

 事務事業コート*
 002000
 重点施策
 該当なし
 平成30年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 大規模改造事業(小学校)
 所属名
 教育委員会事務局
 教育総務課

1. 基本情報

	TINTA										
位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分					
置計	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ	き、すべてのひとが	事業期間	平成28年度 ~ 令和2年度					
位置では	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづくり	根拠法令、						
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	醸成	依拠法市、 根拠計画等						
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	化灰山画寺					
目施 世策	「魅力ある学校づくり	〕」を肯定的に	こ思う児童・生徒の割合	85%	90%	事業分類区分	建設、整備				
標の	不登校児童・生徒の出現率			3.60%	2.50%	運営方法	直営				
0)	放課後児童クラブ	数·受入人数	汝	2,321人	3,303人	会計区分	一般会計				
予算	予算事業名 大規	見模改造事	業費(小学校)			予算事業コード	01-09-02-03-46-01				

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

2. 争来目前	各小学校
対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	施設老朽化対策を実施し、安全面・適切な施設機能面の確保を図る。
手段 (どうするのか)	外壁・トイレ等、各所の劣化施設の改修工事

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

Ť	7.2/202	1,2,7,111	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画		①福部未来学園校舎改 修·增築実施設計業務	① 久松小学校校舍改修 設計業務 ② 福部未来学園校舍改 修·增築工事	①福部未来学園特別教 室棟改修工事	①久松小学校校舎改修 工事	①福部未来学園校庭等 整備工事
台	年度	 医別実績	①福部未来学園校舎改 修·增築実施設計業務	① 久松小学校校舎改修 設計業務 ②福部未来学園校舎改 修·增築工事	①福部未来学園特別教 室棟改修工事		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業領	費(A+B)	17,920	13,415	166,357	0	0
事	直接	経費 A	13,589	9,024	162,011	0	0
業	. 	国∙県	0	0	9,031	0	0
費	直接経 費の財	地方債	12,900	8,500	114,400	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	689	524	38,580	0	0
	人	牛費 B	4,331	4,391	4,346	0	0
贈	員数の	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
I '		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4.	頁馮	を投入することで美施した活動の大き	さを表	9 指標	[PLAN·DO]					
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		改修工事実施個所数	施設	目標	1	1	2	1	1	
	1		旭叹	実績	1	1	2	0	0	
\ ₋ -		(指標の説明)								
活動				目標	0	0	0	0	0	
動 指	2			実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
IN				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)				•		•		

5	. Ψ	·肞	30年度の事務事業実施	他概要【DO】	※削年度の	収り組みを具体	的に記入(予算	- 争務争耒の争:	耒慨安と 建助)		
Γ				【問合せ先】学校施	設係 0857-30-8	3404					
				【10次総の施策体	系】1102						
				【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算・	P 2 3 5 (教	005)				
				【事業の概要】 【事業の概要】 新たに義務教育学	校として開校し	, <i>t</i> -福部未来学	園に必要な校?	≘等の整備を行	īò.		
					新たに義務教育学校として開校した福部未来学園に必要な校舎等の整備を行う。						
				【事業の成果】 幼小中一貫校とし	ての必要な教育	育環境の確保が	図れた。				
				平成29年度 校平成30年度 特	(事業の実績) 平成29年度 校舎等改修実施設計 8,424千円 平成30年度 特別教室棟改修工事 151,797千円						
	事務事業の実施概要			【今後の課題・方		- -	, , , , , , ,				
				校舎等の改修工事		は校庭・中庭等	の外構工事の	着手に向け準備	着を進める 。		
_											
6	. 沽	虭	指標の達成率 【CHE :	<u>-CK】</u> 指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
排	<u> 1</u>	改修工事実施個所数			100%	100%	100%	. , , , , , , , ,	12.112		
標道		,									
月	₹—	+									
L	L		 率は指標の目標値と	と実績値により算出します。	┃ 。目標値が0の	年度は表示さ	ねません。				
						12102110	.4004 2700				
ŕ			【CHECK】 項目と評価の視点 ┃	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)						
		年	度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり	and an						
3.	事業0	の年	度別計画・実績【PLAN・DO】より	□ 3. 事業未完了							
当	亥年度	でき									
			##(/)N/ *	□ 1. 目標を大幅に上回る							
			の達成率 【CHECK】より 大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり							
満: 「50	上回 %~	る」、 80%	「80%~100%以下:目標どおり」、 6去満・下回る」「50%去満・大幅に	□ 4. 目標を下回る□ 5. 目標を大幅に下回る							
ΓI	민 6]	* :1	長も達成度の低い指標で評価	口 5. 日保を入幅に下凹る							
8	. 事	業	の成果を踏まえた今後	後の方向性【ACTION】							
		-,-		■ 1. 拡充	1-1 意図的		□ 4-1 意図				
					1-2 制度的 2-1 手段等			度的に自然減少 F実施等、意図			
					2-2 効率化 2-3 他事業		□ 5-2 意図 □ 5-3 制度				
H	扣	当		建物の老朽化による劣化事故、学習環							
			方向性」を判断した理由が								

事務事業コート002200重点施策該当なし平成30年度 第10次鳥取市総合計画事務事業名不登校対策事業所属名教育委員会事務局学校教育課

1. 基本情報

位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
総合計画	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			事業期間	全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	醸成	根拠法令、 根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	中国市级对	
目施 目策	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	事業分類区分	内部管理	
標の	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	運営方法	直営	
0,	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 不透	登校対策事	業費			予算事業コード	01-09-01-03-12-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	鳥取市立小学校・中学校、及びその児童・生徒
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取市立小・中学校の児童生徒における学校不適応傾向の解消及び未然防止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
手段 (どうするのか)	鳥取市学校不適応対策専門委員会で不適応対策について総括的に討議し、学校不適応の未然防止と課題解消を推進する。特に地域を含めた中学校区の学校の連携を強め、小中の連続性のある不適応対策、児童生徒支援を行っていく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

ŕ	, ,,,,,,,,		では00年度	ᄑᅷᅆᄯᄨ	ᄑᅷᇮᄼᆓ		人名の左右
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容			①学校不適応対策専門 委員会の開催 ②中学校区・校内不適 応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーで の助言指導	①学校不適応対策専門 委員会の開催 愛中学校区・校内不適 応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーで の助言指導	●学校不適応対策専門 会の開催を 会中学校と校内不適 を少した校内不適 応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーで の助言指導	①学校不適応対策専門 会の開催・校内不適 を)申学校と校内不適 応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーで の助言指導	①学校不適応対策専門 委員会の開催 ②中学校区・校内不適 応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーで の助言指導
†			①学校不適応対策専門 委員会を年3回開催し、 市の不適について検討した。②③各 中学校区においてスーパーパイザーを括会を 大不適応対策委員会を 実施し、不適応の角に 、不適応の対策を 実施し、不適応の向上 を図った。	①学校不適応対策専門 委員会を年3回開催し、 、市の不適応の開策について検討した。②③各 中学校区においてスーパーパイザーを招聘し 、不適応対策委員会を 実施し、不適応の解消 や教職員の力量の向上 を図った。	②学校不適応対策専門委員会を年3回開催し、 たの不適にた。②③各中学校区においてター バーバイザーを担告会を 、不適応、不適なの解告会を 実施、大変なの解向上を図った。		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	7,674	7,753	7,798	0	0
由	直接	経費 A	455	434	555	0	0
事業	±+÷ 4∇	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
_	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	455	434	555	0	0
	人作	牛費 B	7,219	7,319	7,243	0	0
田中	員数の	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	_{貝奴の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	. 10//	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

_	. /\	赤と1又八することで大心しに石刻の八と						_ , , ,			
	指標名 学校不適応対策専門委員会の実施回数 1		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
		学校不適応対策専門委員会の実施回数	回数 ロー		3	3	3	3	3		
	1			実績	3	3	3	0	0		
١,	. L	(指標の説明) 学校不適応対策専門	(指標の説明) 学校不適応対策専門委員会の実施回数								
三重		スーパーバイザーによる助言指導回数	□	目標	17	17	17	17	17		
‡				」 実績	22	20	19	0	0		
村	┋┖	(指標の説明) スーパーバイザーが、学校・中学校区へ助言指導した回数									
"				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

5.	平成30年度の事務事業実施概要	[DC
----	-----------------	-----

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

【問合せ先】生徒指導係 0857-30-8413

【10次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】

予算事業別概要目次: 当初予算・P237(教010)

学校不適応の専門家や地域協力員の活用により、学校不適応の解消に向けた取り組みを

行う。 学校不適応対策専門委員会、地域協力員の会、学校代表の会を行い、対策事業を推進 する。 学校不適応対策専門委員会の委員を各学校に派遣し、助言や支援を行う。

【事業の成果】

事務事業の実施概要

学校不適応対策専門委員会(委員7名)の開催

地域協力員(委員60名)の会の開催 スーパーバイザーによる各校への指導助言の実

[事業費実績額]

平成28年度:455千円 平成29年度:434千円 平成30年度:555千円

【今後の課題・方向性】

不登校の背景も年々複雑になり、不登校児童生徒の出現率は依然高い状況にある。今後 も不適応対策委員による方針のもとに、各小・中・義務教育学校や中学校区において、未 然防止と早期対応を進めるとともに、各専門機関との連携を強化し不登校の解消に当たっ 等の一層の活用を図り、不登校の改善をめざしていく。本市教育の重要課題である学校不 適応の解消のためにも本事業の継続が必要であると考えている。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	学校不適応対策専門委員会の実施回数	100%	100%	100%		
標達成	2	スーパーバイザーによる助言指導回数	129%	118%	112%		
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	■ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	スーパーバイザーによる助言指導が、学校不適応に係る諸問題解消の道 筋作りに有効だと各校が理解し、実施回数が増えたため。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよ うな進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~ 80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る□ 5. 目標を大幅に下回る	

2. 3. N. 4. 7. N. N. C. 2010 (1. C. 7. 1.					
	■ 1. 拡充	■ 1-1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
	門機関との早期連携、未然防止、 性を感じている。				京不適応の解消に当たっている。今後、関係専 がら、学校不適応対策をより進めていく必要

事務事業コード 002300 重点施策 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 特別支援教育支援員配置事業 所属名 教育委員会事務局 学校教育課

1	其7	Ϋ́	害	報	

位 総	体系区分	コード	名 称 安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	10				事業期間	平成19年度 ~ 全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			
17 O	1102 教育の充実・郷土愛の醸				譲成		
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	根拠計画等	
目施 目策	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合			85%	90%	事業分類区分	内部管理
が の	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	運営方法	直営	
0,	放課後児童クラブ	放課後児童クラブ数・受入人数			3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 特別	训支援教育	支援昌配置事業費			予算事業コード	01-09-01-03-66-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	市内全ての小・中・義務教育学校
意図 (どのような状態 にするために)	発達障がいなど教育上の特別な支援を要する児童生徒が在籍する学級の円滑な運営と、当該要支援児童生徒の学 習活動を支援する。
手段 (どうするのか)	発達障がいなど教育上の特別な支援を要する児童生徒が在籍する学校に、特別支援教育支援員を配置する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の)取り組み	⊁を簡潔	に記入
-------	-------	------	-----

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画 生 年度別実績		①支援員を配置	①支援員を配置	①支援員を配置	①支援員を配置	①支援員を配置
T			①支援員を配置 H28年度追加配置:6校 、7人	①支援員を配置	①支援員を配置		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)		145,535		222,879	0	0
事	直接	経費 A	53,535	81,897	91,935	0	0
業	直接経	国・県	0	0	0	0	0
費	費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	ての他	0	0	0	0	0
	L ,	一般財源	53,535		91,935	0	0
_	人作	牛費 B	92,000	116,938	130,944	0	0
職	員数の	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	46.00	59.00	64.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

<u>4.</u>	貧淵	を投入することで実施した活動の大き	でを表	5 指標	[PLAN·DO]				
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		支援員配置校数	校	目標	52	56	59	59	57
	1		12	実績	46	59	55	0	0
\ ₋ -		(指標の説明) 特別支援教育支援員の配置校数							
活動	2			目標	0	0	0	0	0
指				実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
IN				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

		(५६)
5. 平成30年度の事務事業実施概要	<u> </u>	※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)
	【問合せ先】学校教育	
	【10次総の施策体系 【予算計上の経過】	11102
	- • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	: 当初予算・P 2 4 3 (教 0 2 2)
	と、当該要支援児童生	上の特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学級の円滑な運営 徒の学習活動を支援するため、発達障がいなど教育上の特別な支援 が在籍する学校に、特別支援教育支援員を配置する。
事務事業の実施概要	状況や教育的ニーズに	を配置することによって、障がいのある児童生徒の個々の障がいの 応じた学習指導及び生活指導を担任を補助しながら実施し、該当児 級全体の精神的安定、授業や学級経営の円滑な運営を行うことがで
	[事業費実績額] 平成28年度: 5 平成29年度: 8 平成30年度: 9	1,897千円
		】 準とするのではなく、配置の必要性も十分調査・検討した上で、学 ら各学校の実態に応じた配置を推進していく必要がある。

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	支援員配置校数	88%	105%	93%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 満:上回る」、「80%~100%以下:目標とおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 1.目標を大幅に上回る□ 2.目標を上回る■ 3. 概ね目標どおり□ 4.目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

	■ 1. 拡充	■ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	る。また、配置についても、配置 である。		らも、可能な限り、さらに配置率を高めることが課題であ 横等も考慮しながら各学校の実態に応じた配置の充実が必要

事務事業⊐ート 002400 **重点施策** ひとづくり 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 公立環境大学運営費交付金事業 所属名 企画推進部 政策企画課

1	其	太	恄	報

総合計画の	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
置計	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	き、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成24年度 ~ 全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづくり		根拠法令、	地方独立行政法人法、公立大
17 0	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	醸成		根拠法市、 根拠計画等	学法人鳥取環境大学定款
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	中国市级对	
目施 目策	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	事業分類区分	その他	
標の	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	運営方法	その他	
0)	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 環境大学運営費交付金					予算事業コード	01-02-01-07-45-02

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	公立大学法人公立鳥取環境大学
意図 (どのような状態 にするために)	公立大学法人公立鳥取環境大学の持続可能な運営を行う。
手段 (どうするのか)	公立大学法人公立鳥取環境大学の毎年の運営費の一部を、鳥取県とともに負担する。

2	事業の年度別計画・宝績	[DI ANDO]
: -	事主(I) 在 度 別 計 III 1 主 病	

※年度別(か取り組み	なを簡潔	ᇈᇎᇫ

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画		①大学運営費交付金 512,689千円 (H28年度は運営費交 付金に施設整備補助金 を含む)	①大学運営費交付金 469,532千円 ②施設整備補助金 51,554千円	①大学運営費交付金 472,536千円 ②施設整備補助金 44,209千円	①大学運営費交付金 ②施設整備補助金	①大学運営費交付金 ②施設整備補助金
tr l			①大学運営費交付金 512,399千円 (H28年度は運営費交 付金に施設整備補助金 を含む)	①大学運営費交付金 467,177千円 ②施設整備補助金 47,285千円	①大学運営費交付金 469,861千円 ②施設整備補助金 43,522千円		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)		516,730	518,852	517,729	0	0
事	直接	経費 A	512,399	514,461	513,383	0	0
業	古拉奴	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	61,612	47,285	43,522	0	0
		一般財源	450,787	467,176	469,861	0	0
	人作	牛費 B	4,331	4,391	4,346	0	0
翩	員数の	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	, , u/ \	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		【KPI】鳥取大学·公立鳥取環境大学市内就職者数	Į.	目標	216	324	432	540	0
	1		人	実績	258	390	523	0	0
,-		(指標の説明) 基準値は平成24~26	毎度の						
活動		鳥取環境大学入学者数	Į.	目標	276	276	276	276	0
指	2		人	実績	291	320	291	0	0
標		(指標の説明)							
1234				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)	•						

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	【KPI】鳥取大学·公立鳥取環境大学市内就職者数	119%	120%	121%		
標達成	2	鳥取環境大学入学者数	105%	116%	105%		
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点 評価内容 評価理由(評価の視点を踏まえて記入) 年度計画の進捗度 □ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了	
年度計画の進捗度 ■ 2. 計画どおり	
3. 事業ACE 度別計画、宝練 「PLAN: DO] 上 日 3. 事業未完了	
3. テネルジールが用意 大戦 たんに といる	
事業の成果 6. 活動指標の達成率 [CHECK]より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未満: 上回る」、「809%~100%以下: 目標とおり」、「509%未満: 下回る」、「509%未満: 大幅に下回る」、※最も達成度の低い指揮で評価 5. 目標を大幅に下回る 「5. 目標を大幅に下回る」 「5. 目標を大幅に下回る」 「5. 目標を大幅に下回る」 「5. 目標を大幅に下回る」 「5. 目標を大幅に下回る」	

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント		している中、大学と連携して県内就職者数をす 可能性が生じており、年次的に対応していく。	増加させる一層の努力が必要である。また、大学開設後18 必要がある。
(「今後の方向性」を判断した理由が		3,50,25,20,20,20,31,31,31,51,51,51,51	
わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)			
な成末と、予後の改善ノブラを記載/			

事務事業コート 002500 **重点施策** ひとづくり 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 看護学生就職支援事業 所属名 健康こども部 保健医療福祉連携課

1	其	木	恄	報

	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置では	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ	き、すべてのひとが	事業期間	平成25年度 ~ 全期	
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			根拠法令、	
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成			根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山画寺	
目施 目策	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合			85%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	運営方法	補助金交付	
0,	放課後児童クラブ	数·受入人数	数	2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 看記	隻職員実習	指導者養成支援事業費	E Comment		予算事業コード	01-04-01-01-27-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	県東部圏域医療機関等
意図 (どのような状態 にするために)	実習病院の不足解消につなげる。
手段 (どうするのか)	看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関等に受講者の受講期間の基本給の一部を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		1/2/31111	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画 1 3 4 年度別実績		①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等〜の補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付
Ħ			①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	3,202	3,040	3,440	0	0
事	直接	経費 A	2,047	1,869	2,281	0	0
業	古拉尔	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	2,047	1,869	2,281	0	0
		一般財源		0	0	0	0
	人作	牛費 B	1,155	1,171	1,159		0
睐	員数の	正規職員		0.16	0.16	0.00	0.00
	_{貝数の} 内訳	嘱託職員		0.00	0.00	0.00	0.00
	1 34/	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		【KPI】鳥取市医療看護専門学校卒業生の市内医療 機関等への就職率	%	目標	0	70	70	70	0
	1	1次 対 守・、0/が地下	/0	実績	0	72.9	56.5	0	0
,-T		(指標の説明)							
活動		対象受講者数	Y	目標	15	15	12	12	12
指	2		人	実績	13	13	13	0	0
標		(指標の説明)補助金交付対象となる	受講者						
IN				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

	(うら
5. 平成30年度の事務事業実施概要	【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動
	【問合せ先】保健医療福祉連携課 0857-20-3914
	【 1 0 次総の施策体系】1102
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P 7 6 (健 0 0 3)
事務事業の実施概要	【事業の概要】 ・鳥取市では市民の健康を守る上でも現在及び将来にわたっての看護師不足解消のため、新たな看護師養成所の誘致に取り組み、平成27年4月1日、鳥取市医療看護専門学校が開校した。 ・実習指導者養成講習会の受講支援をすることにより、看護師養成所の新設への課題の一つである実習病院の不足解消につなげる。 (内容) ・県等が主催する看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関(鳥取県知事が開設するものは除く)に受講者の受講期間(約2か月)の基本給の一部を補助する。 ・受講者1人につき30万円を上限とする。 ・鳥取市単独の補助事業。
	【事業の成果】 平成28年度実績 補助金額 2,047,000円(補助対象者数 13人) 平成29年度実績 補助金額 1,869,000円(補助対象者数 13人) 平成30年度実績 補助金額 2,281,000円(補助対象者数 13人)
	【今後の課題・方向性】 臨地実習の受け入れ体制の整備に向け、引き続き事業を継続する。

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	【KPI】鳥取市医療看護専門学校卒業生の市内医療機関等への就職率		104%	81%		
標達成	2	対象受講者数	87%	87%	108%		
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

/. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満、大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	□ 1. 目標を大幅に上回る□ 2. 目標を上回る■ 3. 概ね目標どおり□ 4. 目標を下回る□ 5. 目標を大幅に下回る	鳥取市医療看護専門学校看護学科の第2期生が卒業し、市内の医療機関への就職につながっている。

	■ 1. 拡充	■ 1-1 意図的に拡充	₹ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然		制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改	∮ □ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素	化 □ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との紀	恰 □ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント	看護師等養成所の臨地実習を行う 継続する。	医療機関等の看護職員実習指導者	の確保を図り、臨地実習の	受け入れ体制の整備に向け、引き続き事業は
(「今後の方向性」を判断した理由が				
わかるよう、数値等を用いた具体的				
な成果と、今後の改善プランを記載)				

事務事業コート゛ 002600 重点施策 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 校務支援事業 所属名 教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

	体系区分	コード		名 称			区分
位置では	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ	き、すべてのひとが	住みやすいまち	事業期間	平成27年度 ~ 全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	教育の充実・郷土愛の醸成			
+/-		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	根拠計画等	
目施 目策	「魅力ある学校づくり)」を肯定的に	に思う児童・生徒の割合	85%	90%	事業分類区分	内部管理
標の	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	運営方法	外部委託	
0)	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名 校務支援事業費					予算事業コード	01-09-01-03-25-03

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	小中学校教職員
意図 (どのような状態 にするために)	きめ細かな指導を可能とするため必要な情報を共有し、さらに、校務の負担を軽減することで、教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開等を吟味し合う時間を増加させ、「教育の質の向上」と「学校運営の改善」を図る。
手段 (どうするのか)	教員が担うべき業務に専念できる環境整備することが求められ、その一つとして「統合型校務支援システムの整備」を市内全小中学校に導入する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画 生 年度別実績		①グループウェア、成 續管理機能、出席、授 業時数管理、保健管理 等の機能を有する校務 支援システムをモデル 校で導入する。	①グループウェア、成 練管理機能、出席、授 業時数管理 等中機能を有する校務 支援システムをモデル 校で導入する。	①市内全小中学校で、 システム導入し、教育 の質の向上と学校運営 の改善を図る。	①市内全小中学校で、システム導入し、教育の質の向上と学校運営の改善を図る。	①市内全小中学校で、 システム導入し、教育 の質の向上と学校運営 の改善を図る。
T			①グループウェア、成 續管理機能、出席、授 業時数管理、保健管理 等の機能を有する校務 支援システムをモデル 校8校で導入した。	①グループウェア、成 練管理機能、出席、授 業時数管理、保健管理 等の機能を有する校務 支援システムの県内統 一の様式を協議検討し 、決定した。	①グループウェア、成 續管理機能、出席、授 業時数管理、保健管理 等の機能を有する校務 支援システムの県内統 一の様式を決定し、シ ステムの運用を開始し た。		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	8,292	42,594	19,687	0	0
事	直接	経費 A	1,073	35,275	12,444	0	0
業	直接経	国・県	0	0	0	0	0
費	費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,073	35,275	12,444	0	0
<u> </u>	人作	牛費 B	7,219	7,319	7,243		0
贈	員数の	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
Ī		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

<u>4.</u>	貧淵	を投入することで実施した活動の大き	でを表	5 指標	[PLAN·DO]				
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		校務支援システムの全校導入	校	目標	8	60	0	0	0
	1		仅	実績	8	60	0	0	0
`~		(指標の説明) 校務支援システムの全	:校導入						
活動		校務支援システムの運用		目標	0	0	59	59	57
動 指	2			実績	0	0	59	0	0
標		(指標の説明) 校務支援システムの運	用						
IN				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

	5. 亚代00万亩の市农市米中华坝市	(no)	(分)
ĺ	5. 平成30年度の事務事業実施概要	【問合せ先】指導係 0 【10次総の施策体系	
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次	: 当初予算・P 2 3 9 (教 0 1 3)
		28年6月)を示し、各 が求められ、県内統一	る業務の適正化に向けて業務改善のためのタスクフォース報告(H 6自治体に対し教員が担うべき業務に専念できる環境整備すること で整備した校務支援システムの全校展開による事務処理の統一化及 職員等学校関係者が必要な情報を共有し、児童生徒へのきめ細かな
			,275千円
			】 り、教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開 増加させ、「教育の質の向上」と「学校運営の改善」を図る。

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	校務支援システムの全校導入	100%	100%			
標達成	2	校務支援システムの運用			100%		
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

/. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよ うな進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未		
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~ 80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」 ※最も達成度の低い指標で評価	□ 4.目標を下回る □ 5.目標を大幅に下回る	

	Z TO TO TO		
	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
11 半細 目の証 体っかい	グループウェア、成績管理機能、	出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有る	する校務支援システムを市内全小・中・義務教育学校に導入
担当課長の評価コメント	した。		
(「今後の方向性」を判断した理由が	今後は機能改善を図りながら、引	き続き運用を継続する。	
わかるよう、数値等を用いた具体的			
な成果と、今後の改善プランを記載)			

 事務事業コート
 002700
 重点施策
 該当なし
 平成30年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 学校給食食物アレルギー対策事業
 所属名
 教育委員会事務局
 学校保健給食課

1	其	木	犗	鉛

位総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置が窓合計画	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ	き、すべてのひとが	住みやすいまち	事業期間	平成26年度 ~ 全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづくり)	根拠法令、	
17 O	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	教育の充実・郷土愛の醸成			
+/-		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	根拠計画等	
目施	「魅力ある学校づくり	り」を肯定的に	こ思う児童・生徒の割合	85%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	不登校児童・生徒の出現率			3.60%	2.50%	運営方法	直営
0)	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	
予算	予算事業名 学校給食食物アレルギー対策事業費					予算事業コード	01-09-05-03-06-08

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	鶏卵と乳を食物アレルギーとする児童生徒(アナフィラキシー既往なし)
意図 (どのような状態 にするために)	食物アレルギーを有する児童生徒が、他の生徒と同じように給食時間を安全に、楽しく過ごせる機会を増やし、 食育としての学校給食の効果を高めるために実施。
手段 (どうするのか)	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

3. 事業の年度別計画・美績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを間深に記									
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
内容	年度別計画		①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代 替食の提供	①アレルギー原因(卵 ・乳)食材除去食・代 替食の提供 ②WG開催 マニュアル見直し・改 定	①アレルギー原因 (卵・乳) 食材除去食・代 普食の提供 ②学校生活管理指導表 導入	①アレルギー原因(卵・乳) 食材除去食・代 替食の提供	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代 替食の提供		
tr	年度	 医別実績	①除去食・代替食の提供 24人×3回/月	①除去食・代替食の提 供 25人×3回/月 ②WG開催 マニュアルの見直し検 討	①除去食・代替食の提供 42人×3回/月 ②学校生活管理指導表 導入 検討委員会を開催し、 学校生活管理指導表の 導入を決定、平成31年 度の申込受付から配布 を開始				
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)		
	事業領	貴(A+B)	1,604	1,565	1,551	0	0		
事	直接	経費 A	160	101	102	0	0		
業	. 	国∙県	0	0	0	0	0		
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0		
	源内訳	その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	160		102	0	0		
L	人	牛費 B	1,444		1,449	0	0		
膱	員数の	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00		
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

-7.	又心	で仅入りることで天心した心動の人と	. C - 12	7 1017	LI LAN DO				
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	%	目標	100	100	100	100	100
	1		/0	実績	100	100	100	0	0
,_		(指標の説明) アレルギー食材を使用	した給っ	食数のう	ち、対象児童に	上提供した除去負	食・代替食の割っ	合	
活動				目標	0	0	0	0	0
動 指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1214				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)					•		•

5.	平月	成30年度の事務事業実加				な的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)
	_		【問い合わせ先】学	校給食係 0857.	-30-8417			
			【10次総の施策体	系】1102				
			【予算計上の経過】 当初予算					I
			【事業の概要】 1 アレルギー対応 2 アレルギー対応 3 アレルギーに対	に必要な調理業	業務の委託		の提供	
	Ī	事務事業の実施概要	【事業の成果】 1 アレルギー対応 2 検討委員会を開 平成28年度 16 平成29年度 10 平成30年度 10	催し、マニュア 0千円 1千円				
			【 今後の課題・方向 1 アレルギー対応 2 アレルギーの児	給食の実施上の				5
6.	活動	動指標の達成率 【CHE	ECK]					
	<u> </u>	1	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	アレルギー原因(卵・乳)食材除差	5食・代替食の提供	100%	100%	100%	,	
標達	2			†	i			
成率	-			 		 		
	Ŭ		Andrew I. I. I.		<u> </u>	<u> </u>		
Ж	達凡	え率は指標の目標値と	と実績値により算出します。	、目標値がOの	年度は表示さ	れません。	_	_
		西【CHECK】 西海日上証価の担点	== lu: +h sia	.	=≖/≖≠ ₽ ↔ (₹	ᆕᆓᇬᆌᆂᆂᄜ	· 	
\vdash		西項目と評価の視点	評価内容 □ 1. 計画を上回る		<u>評価埋田(計</u>	評価の視点を踏	まえて記人)	
	4	F 度計画の進捗度 	■ 2. 計画どおり					
当該	な年度で	年及別計画・美積 [PLAN・DO]より	□ 3. 事業未完了□					
		手耒の以未 標の達成率【CHECK】より	□ 1. 目標を大幅に上回る□ 2. 目標を上回る■ 3. 概ね目標どおり					
満:」 「509	上回る」 %~ 80	E: 入幅に上回る」、「101%~150%末 」、「80%~100%以下: 目標どおり」、 0%未満・下回る」「50%未満・大幅に	■ 5. 似な日保とおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る					
8.	事訓	<u>業の成果を踏まえた今後</u>	後の方向性【ACTION】					
	-			1-1 意図的 1-2 制度的		□ 4-1 意図		15
		今後の方向性	□ 3. 現状維持	1-2 制度的 2-1 手段等	の改善		度的に自然減少 年実施等、意図	
			□ 4. 縮小 □	2-2 効率化 2-3 他事業	、簡素化	□ 5-2 意図□ 5-3 制度	図的に廃止	
\vdash	TO 1		□ 5. 休止、廃止、終了 □ アレルギー対応給食の実施上の諸課題 □			□ 5−3 刑点	隻的に終 」	
(「: わ:	今後 <i>0</i> かるよ	当課長の評価コメント の方向性」を判断した理由が よう、数値等を用いた具体的 と、今後の改善プランを記載)						

事務事業→ 032400 **重点施策** ひとづくり **平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名** 学校維持補修事業(中学校・大規模) **所属名** 教育委員会事務局 教育総務課

1	其本	害報

位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
総合計画の	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			事業期間	全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			根拠法令、	
17 O	施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成			根拠法市、根拠計画等	
+/-		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	T L L L L L L L L L L L L L L L L L L L	
目施	「魅力ある学校づくり	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合			90%	事業分類区分	建設、整備
標の		不登校児童・生徒の出現率			2.50%	運営方法	直営
0,	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 学科	交維持補修	費(中学校・大規模)			予算事業コード	01-09-03-01-07-02

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> 2. 争未日的</u>	(PLAN)
対象 (何を、誰を)	各小中義務教育学校
意図 (どのような状態 にするために)	安心・安全な教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	学校生活に支障が生じている施設の改修、予防保全に係る改良工事を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画		空調設備設置工事(国 府中、江山中、高草中)	①中/郷中空調設備実 施設計業務 ②屋根改修実施設計業 務 ③中/郷中屋内運動場 屋根改修工事	①中/郷中·鹿野学園 空調設備工事 ②青谷中学校·鹿野学 園施設防水対策工事		
台	年度	E別実績	空調設備設置工事(国 府中、江山中、高草中)	①中/郷中空調設備実 施設計業務 ②屋根改修実施設計業 務 ③中/郷中屋内運動場 屋根改修工事	①中/郷中·鹿野学園 空調設備工事 ②青谷中学校·鹿野学 園施設防水対策工事		
	区分		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		費(A+B)	0	0	117,745	0	0
事	直接	経費 A	0	0	113,399	0	0
業	古拉奴	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	84,700	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	28,699	0	0
	人作	牛費 B	0	0	4,346	0	0
膱	員数の	正規職員	0.00	0.00	0.60	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員 臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	7101					0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		改修等事業進捗	%	目標	100	100	100	0	0	
	1		/0	実績	100	100	100	0	0	
,_		指標の説明)								
活動		【KPI】トイレ洋式化率(中学校)	%	目標	0	0	42.4	43.1	0	
指	2		, -	実績	0	0	42.4	0	0	
標		(指標の説明) 洋式トイレ 305/和式トイレ 414(H30)								
121				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								

							(うら)
5.	平成30年度の事務事業実施			取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	業概要と運動)
【事業の概要】 経年劣体 見季体 事業の成果】 夏季な業の成果】 夏事業の実施概要 事務事業の実施概要 平成30年度 【今後の課題な必要である。			系】1102 次:当初列列 前月 前月 会中 ・・る 対策 設 は は は は は は い は い は い い り り り り り り り り	P235(教 算・P47(支障が生なで 年生教室 な施設整備が ほか 裏野 関が 裏野 関が 関が 関が 関が 関が 関が 関が 関が 関が 関が 関が 関が 関が	教 0 0 4) いる施設の機能 楽室に空調設(図れた。 ,342千円 備設置工事 工事等	構を整備する。 98,976 14,423	千円
6.	活動指標の達成率 【CHE						
	す 改修等事業進捗	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指			100%	100%	100%		
標達	【KPI】トイレ洋式化率(中学校)						
成	2 【於門內戶戶式化學(中子校)				100%		
成率	2				100%		
成 率	3	実績値により算出します。	目標値が0の	年度は表示さ			
成率	3 達成率は指標の目標値と	実績値により算出します。	目標値が〇の	年度は表示さ			
成率 ※ 7.	3 達成率は指標の目標値と 評価【CHECK】		目標値が0の		れません。	まえて記 入り	
成率 ※ 7.	2 3 達成率は指標の目標値と 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	:実績値により算出します。 評価内容 □ 1. 計画を上回る	目標値がOの			まえて記入)	
成率 7.	2 3 達成率は指標の目標値と 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 *の年度別計画・実績【PLAN・DO]より	評価内容	目標値が〇の		れません。	まえて記入)	
成率 ※ 7. 3.当方公 6.150.1 1550%	全成率は指標の目標値と 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 素の年度別計画・実績【PLAN・DO]より 年度で予定した事業が3月末時点でどのより 排状況となったか。 事業の成果 動指標の達成率【CHECK】より 808とまた。TRO3人「5009を以下:目標とおり」、 2008と書き、TRO3人「5009をようでは、2008と書き、TRO3人「5009を表しては、2008と書き、TRO3人「5009を表しては、2008と書き、TRO3人「5009を表しては、2008と書き、TRO3人「5009を書き、大幅「	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了	目標値が〇の		れません。	まえて記入)	

■ 1-1 意図的に拡充

□ 2-1 手段等の改善

□ 2-2 効率化、簡素化 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-3 制度的に終了 適切な教育環境の確保にあたり、老朽化が進行している施設改修等は不可欠であると考える。

□ 1-2 制度的に自然増加

□ 4-1 意図的に縮小

□ 5-2 意図的に廃止

□ 4-2 制度的に自然減少

□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性

担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載) ■ 1. 拡充

□ 4. 縮小

□ 2. 改善継続

□ 3. 現状維持

事務事業→ 032500 **重点施策** ひとづくり **平成30年度 第10次鳥取市総合計画** 事務事業名 小中学校空調設備整備事業 **所属名** 教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置では	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	き、すべてのひとが	住みやすいまち	事業期間	平成30年度 ~ 平成31年度
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			根拠法令、	
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成			根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山画寺	
目施 目策	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合			85%	90%	事業分類区分	建設、整備
標の	不登校児童・生徒の出現率			3.60%	2.50%	運営方法	直営
0)	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 小口	中学校空調	設備整備事業費			予算事業コード	01-09-01-03-43-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	小中義務教育学校
意図 (どのような状態 にするために)	令和元年度中に全ての普通教室に空調設備を設置
手段 (どうするのか)	早急な整備を図るため、設計施工一括方式による民間のノウハウを活用した整備を実施

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の1	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内	年度別計画 年度別実績				①空調設備整備に係る公 募型プロポーザルを実 施	①全普通教室に空調設備 を設置	
容					①空調設備整備に係る公 募型プロポーザルを実 施		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業領	貴(A+B)	0	0	10,865	0	0
+	直接	経費 A	0	0	0	0	0
事業	±+÷ 4⊽	国・県	0	0	0	0	0
書	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
~	源内訳		0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
	人	牛費 B	0	0	10,865	0	0
中华	員数の	正規職員	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00
	貝剱の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	אם נייו	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		普通教室空調設備整備事業進捗	%	目標	0	0	100	100	0	
	1		/0	実績	0	0	100	0	0	
ът.		(指標の説明)								
活動	2			目標	0	0	0	0	0	
指				実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
1234				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								

	[[DO]		取り組みを具体	的に記人(予算	事務事業の事	業概要と連動)
	問合せ先】学校施設を	係 0857-30-84	04			
	【10次総の施策体	系】1102				
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:6月補正予 11月臨時	予算・P 4 6 (詩補正予算・P	教 0 0 1) 1 4 (教 0 0	1)	
	【事業の概要】 小中義務教育学校	の全普通教室に	ニ空調設備を設	置する。		
	【事業の成果】 国の臨時補正予算 (事業の実績) 平成30年度	に呼応し、本事 鳥取市立学校空			_	? ३⊤⋉\
事務事業の実施概要		公募型プロポー		未正開エヂ(116, 216	S. JIE,
	【今後の課題・方向 施工事業者と学校:		協力のもと、	年度内での事績	業完了を目指す	•
っ 江梨や梅の海は夜【の口にのK】						
6. 活動指標の達成率【CHECK】 指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
普通教室空調設備整備事業進捗	<u> </u>	1 /34=- 1 .2	1 /24 1	100%	1 /24	1,16-10
指 1 標		<u> </u>		100/0		
【達 2 】						
成 3 3		†				
 	値により質出します	日堙値が○の	 年度は表示さ	L れません。		
		。日保恒かりの	121020			
7 誣価【CHECK】	ににより弁田しより	。日保他がひの	7721633710			
7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	評価内容	。日保恒がひの		平価の視点を踏	まえて記入)	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 □ 1.	評価内容 計画を上回る	. 日保値が00			まえて記入)	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 ■ 2.	評価内容	。日保順がひん			まえて記入)	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 □ 1. ■ 2.	評価内容 計画を上回る 計画どおり	。日保順がひの			まえて記入)	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 3. 事業の年度別計画・実績 [PLAN・DO]より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。 事業の成里	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る	。日保順がひん			まえて記入)	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 3. 事業の年度別計画・実績 [PLAN・DO]より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。 事業の成果 6. 活動指標の達成率 [CHECK]より [150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 目標を上回る 概ね目標どおり	。日保順がひん			まえて記入)	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 3. 事業の年度別計画・実績 [PLAN・DO]より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。 事業の成果 6. 活動指標の達成率 [CHECK]より [150%6以上: 大幅に上回る」、「101%~150%6未満: 上回る」、「101%~150%6未満に上回る」、「101%~150%6未満に上回る」、「101%~150%6未満に配え、「150%4、第120~150%~100%6以下:目標とおり」、「150%4~90%4年来、150元」、「150%4年来、150元」、「150%4年来、150元」、「150%4年来、150元」、「150%4年来、150元」、「150%4年来、150元」、「150%4年来、150元」、「150%4年来、150元」、「150%4年来、150元」、「150%4年来、150元」、「150%4年来、150元」(150%4年来、150元)	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 目標を上回る 概ね目標どおり 目標を下回る	。日保順がひん			まえて記入)	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 3. 事業の年度別計画・実績 [PLAN・DO]より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。 事業の成果 6. 活動指標の選成率 [CHECK]より 「150%6未満、上回る」、「80%~100%以下:目標におり、「50%を未満、上回る」、「750%~100%以下:目標におり、「50%と第一条の後年書、下回表」、「50%と考した。」 4.	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 目標を上回る 概ね目標どおり	。日保順がひの			まえて記入)	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 3. 事業の年度別計画・実績 [PLAN・DO]より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。 事業の成果 6. 活動指標の選成率 [CHECK]より 「150%6未満、上回る」、「80%~100%以下:目標におり、「50%を未満、上回る」、「750%~100%以下:目標におり、「50%と第一条の後年書、下回表」、「50%と考した。」 4.	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 目標を上回る 概ね目標どおり 目標を下回る 目標を大幅に下回る	。日保順がひん			まえて記入)	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 3. 事業の年度別計画・実績 [PLAN・DO]より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。 事業の成果 6. 活動指標の達成率 [CHECK]より「150%は上、対幅に上回る」、「150%以上、大幅に上回る」、「101%~150%未満・上回と」、「50%~80%未満・下回る」、「50%は水・14欄で評価 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 目標を上回る 概ね目標とおり 目標を大幅に下回る 可性【ACTION】	1-1 意図的	評価理由(記	平価の視点を踏	図的に縮小	,
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 3. 事業の年度別計画・実績 [PLAN・DO]より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。 事業の成果 6. 活動指標の達成率 [CHECK]より「150%に入し、対している。」 3. □ 2. □ 3. □ 5.0% ~ 80% 未満:中回る」、「50% ~ 100% 以下:目標とおり」、「50% ~ 80% 未満:中回る」、「50% 本満:大幅に下回る」、「50% ~ 80% 未満:下回る」、「50% 本満:大幅に下回る」、※最も達成度の低い指標で評価 8. 事業の成果を踏まえた今後の方「□ 1. □ 2. 今後の方向性 ■ 3.	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 間標を上回る 間標を上回る 間標を下に上回る 間標を大幅に下回る 可性【ACTION】	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	評価理由(記 に拡充 に自然増加 の改善	平価の視点を踏 □ 4-1 意図 □ 4-2 制度 □ 5-1 臨年	図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 3. 事業の年度別計画・実績 [PLAN・DO]より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。 事業の成果 6. 活動指標の達成率 [CHECK]より [150%と150%と表満: 大幅に上回る」、「50%~100%以下: 目標とおり」、「50%~80%を表満、下回る」、「50%を表満、大幅に下回る」、「80%~100%以下: 目標とおり」、「50%~80%を表満、下回る」、「50%を表満、大幅に下回る」、「80%~100%以下: 目標とおり」、「50%~80%を表満、下回る」、「50%を表満、大幅に下回る」、「80%~80%と対策で評価 8. 事業の成果を踏まえた今後の方「 9. 3. □ 4. □ 2. □ 3. □ 4.	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 目標を上回る 間標を大幅に下回る 可性【ACTION】 拡充 改表継続 現状維持 縮小	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等 2-2 効率化	評価理由(記 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平価の視点を踏 □ 4-1 意図 □ 4-2 制度 □ 5-1 臨4 □ 5-2 意図	図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図 図的に廃止	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 3. 事業の年度別計画・実績 [PLAN・DO]より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。 事業の成果 6. 活動指標の達成率 [CHECK]より [150%に 表記した・「150%に とした側に上回る」、「101%~150%に 満:上回る」、「80%~100%以下:目標とおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」、「50%未満に下回る」、「80%~100%以下:目標とおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」、「80%~100%以下:目標とおり」、「50%を80%を20%とは、100%に対しません。」 8. 事業の成果を踏まえた今後の方「□ 1.□ 2. 今後の方向性 □ 3.□ 4.□ 5.	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 目標を上回る 間標を大幅に下回る 可性【ACTION】 拡充 改表継続 現状維持 縮小	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等 2-2 効率化 2-3 他事業	評価理由(記 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平価の視点を踏 □ 4-1 意図 □ 4-2 制度 □ 5-1 臨年	図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図 図的に廃止	

事務事業コート 032600 重点施策 ひとづくり 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 中学校増改築事業 所属名 教育委員会事務局 教育総務課

1	其本	害報

位総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
総合計画の	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	き、すべてのひとが	事業期間	平成29年度 ~ 令和3年度	
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづくり	根拠法令、		
17 O	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	醸成	根拠法市、根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山凹寸	
目施	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合			85%	90%	事業分類区分	建設、整備
標の	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	運営方法	直営	
0)	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 中学	学校増改築	事業費			予算事業コード	01-09-03-03-33-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> 4. 事未口叫</u>	(FLAN)
対象 (何を、誰を)	南中学校の武道場と校舎(管理・特別等)
意図 (どのような状態 にするために)	安心・安全な施設環境と、生徒数増加に伴う教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	耐震性の無い武道場を改築し安全な施設環境と、既存校舎(管理・特別等)を改築し生徒増に伴う教育環境の確保を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画			①南中学校武道場実施設 計業務	①南中学校武道場改築 工事 ②南中学校校舍改築基 本設計 3南中学校校舎改築実 施設計	(中)	TJ 1412 4-192
į į	年度	廷別実 績		①南中学校武道場実施設 計業務	①南中学校武道場改築工事 ②南中学校校舎改築基 本設計 3南中学校校舎改築実 施設計		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		費(A+B)	0	2,928	157,811	0	0
事	直接	経費 A	0	0	154,189	0	0
業	古拉奴	国・県	0	0	8,210	0	0
業費	直接経 費の財	地刀頂	0	0	129,300	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	16,679	0	0
	人	牛費 B	0	2,928	3,622	0	0
舳	員数の	正規職員	0.00	0.40	0.50	0.00	0.00
叫以	_{貝奴の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	34/1	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		南中学校校舎等改築事業進捗	%	目標	0	100	100	100	0	
	1			実績	0	100	70	0	0	
,т		(指標の説明)								
活動				目標	0	0	0	0	0	
指	2			実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
1234				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								

	(うら
5. 平成30年度の事務事業実施概要	「【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動
	問合せ先】学校施設係 0857-30-8404
	【10次総の施策体系】1102
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P236(教007) 6月補正予算・P48(教005)
	【事業の概要】 耐震化に伴う武道場の整備に併せ、生徒数増加に対応した校舎の改築工事を実施する。
	【事業の成果】 武道場の解体により鳥取市の全学校施設の耐震化率が100%となった。 (事業の実績)
事務事業の実施概要	平成29年度 ^企 武道場改築実施設計業務 41,493千円 平成30年度 武道場改築事業 129,792千円 校舎増改築事業 24,397千円
	【今後の課題・方向性】 生徒数増加に対応するための教育環境の確保に必要な整備を実施する。

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	南中学校校舎等改築事業進捗		100%	70%		
標達成	2						
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	学校協議に不測の日数を要したため。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよ うな進捗状況となったか。	■ 3. 事業未完了	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未 満: 上回る」、「80%~100%以下: 目標とおり」、 「50%~80%未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	□ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり ■ 4. 目標を下回る	設計協議に不測の日数を要し、年度内での業務完了が図れなかったため。

8	事業の成果を踏まえた今後の方向性	[ACTION]
Ο.	サネツルへと叫るたに / 区ツカロコ	LACITOIN,

	■ 1. 拡充	■ 1-1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント	安心・安全な施設環境を図るとと	もに、今後の生	E徒数増加に対応するための教	育環境の確保に	必要な整備を実施する。
(「今後の方向性」を判断した理由が					
わかるよう、数値等を用いた具体的					
な成果と、今後の改善プランを記載)					

 事務事業コート
 032700
 重点施策
 ひとづくり
 平成30年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 学校維持補修事業(中学校・通常)
 所属名
 教育委員会事務局
 教育総務課

1. 基本情報

1. 0	TTIFITIA						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	き、すべてのひとが	事業期間	全期	
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづくり)	根拠法令、	
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	醸成		根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	中国市级对	
目施	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合			85%	90%	事業分類区分	建設、整備
標の	不登校児童・生徒の出現率			3.60%	2.50%	運営方法	直営
	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 学校	交維持補修	事業(中学校・通常)			予算事業コード	01-09-03-01-07-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

2. 争未日的	
対象 (何を、誰を)	各中学校
意図 (どのような状態 にするために)	安心・安全な教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	施設の不具合について修繕を行う。

3.	3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを簡潔に記入									
		. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度			
内容	年度別計画		①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費		①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費			
谷	年度	 医別実績	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費					
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)			
	事業領	貴(A+B)	28,347	42,553	29,236	0	0			
由	直接	経費 A	24,016	38,162	24,890	0	0			
事業	± +÷ 47	国・県	0	0	0	0	0			
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0			
_	源内訳	その他	11,548	5,107	5,807	0	0			
		一般財源	12,468	33,055	19,083	0	0			
	人	牛費 B	4,331	4,391	4,346	0	0			
暗	員数の	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00			
	_{貝数の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
	: JU/\	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

丁. 只#	ぶと 又入することで一地した石刻の入る		7 1017								
	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度			
	トイレ洋式化修繕箇所	箇所	目標	0	0	1	0	0			
1		直 の	実績	0	0	1	0	0			
`~	(指標の説明)										
活一			目標	0	0	0	0	0			
動 指 2			実績	0	0	0	0	0			
標	(指標の説明) 洋式トイレ 696/和式トイレ 1,003(H30)										
lyk —			目標	0	0	0	0	0			
3			実績	0	0	0	0	0			
	(指標の説明)										
3	(指標の説明)		実績	0	0	0	0				

5.	平瓦	は30年度の事務事業実施				的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)
			【問合せ先】学校旅	設係 0857-30-	8404			
			【10次総の施策体	系】1102				
			「事業の日的なが対	. III 1				
			【事業の目的及び対 各中学校に日常的		设の不具合につ	いて修繕を行	うことによって	、安全かつ
			快適な教育環境を確	保する。				
			また、消防用設備 より、火災等の災害					19566
				,	37137 (1242/115172	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
			【事業の内容】 消耗品費 : 床	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	伏 ほか			
			修繕費 : 硝	子修理、経年紀	合化による各種			
			原材料費 :杉	を庭の土 ほか	事業概要 備品	·購入費 :消息	火器	
	事務事業の実施概要							
			•					
6.	活重	カ指標の達成率【CHE +			亚宁尔左东	ᄑᅷᅆᄯᄨ	ᄑᅷᅆᄹᄨ	人和农产品
-	I	ナ トイレ洋式化修繕箇所	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1					100%		
標達	2							
成	<u> </u>							
率	3							
X	達成	本は指標の目標値と	:実績値により算出します	。目標値がOの	年度は表示さ	れません。		
_	== /-	r Faurau I						
<u> </u>		「【CHECK】 「項目と評価の視点	評価内容	T	証価理由(重	平価の視点を踏	主えて記 λ)	
			□ 1. 計画を上回る		计顺注用 (6	TЩ♥プ沈ホで頃	みんて記入	
	4	度計画の進捗度	■ 2. 計画どおり					
		- 及別計画・美積 【PLAN・DO】より	□ 3. 事業未完了					
		予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。						
		東業のは用	□ 1. 目標を大幅に上回る					
		争耒の放朱	□ 2. 目標を上回る					
Γ150	%以上	: 入幅に工団の」、ロロ%~150%末	■ 3. 概ね目標どおり					
Γ50	% ~ 80		□ 4. 目標を下回る□ 5. 目標を大幅に下回る					
11/12	יע ניפיו	取 0年/0/支の 応い 日宗 C 計画		1				
	_							
8.	事業	<u>の成果を踏まえた今後</u> ■		1 1 1 1 5	にせた		刃もん ノー を立 八	-
				┃ 1-1 意図的]1-2 制度的		□ 4-1 意園	凶的に縮小 度的に自然減少	,
] 2-1 手段等			<u>₹実施等、意図</u>	
			□ 4. 縮小 □] 2-2 効率化	、簡素化	□ 5-2 意図	図的に廃止	
_			□ 5. 休止、廃止、終了 □ 5. 休止、廃止、終了 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □] 2-3 他事業		□ 5−3 制度		
/ [課長の評価コメント	定1000で1月10にある力心争以、子自 攻	メガショットサゼル公に	カイルツ、 心以 吟音す	さらい コン てののこう	J/L 0 /0	
	かるよ)方向性」を判断した理由が こう、数値等を用いた具体的						
		、今後の改善プランを記載)						

事務事業コード 032701 重点施策 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 所属名 教育委員会事務局 教育総務課 事務事業名 学校維持補修事業(小学校・通常)

1. 基本情報

1. 0	TTIFITIA						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	き、すべてのひとが	事業期間	全期	
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづくり)	根拠法令、	
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	醸成		根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	中国间域划	
目施	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合			85%	90%	事業分類区分	建設、整備
標の	不登校児童・生徒の出現率			3.60%	2.50%	運営方法	直営
	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 学校	交維持補修	事業(小学校・通常)			予算事業コード	01-09-02-01-04-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

2. 手术目前	各小学校
対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	安心・安全な教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	施設の不具合について修繕を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画		①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費		①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費
T T	年度	医別実績	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品 購入費		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		費(A+B)	53,090	66,601	72,891	0	0
事	直接	経費 A	48,759	62,201	68,545	0	0
業	古拉奴	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	22,877	10,867	10,409	0	0
		一般財源	25,882	51,343	58,136		0
	人作	牛費 B	4,331	4,391	4,346		0
朏	員数の	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	1	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

<u>4.</u>	貧淵	を投入することで実施した活動の大き	でを表	5 指標	[PLAN·DO]							
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度			
		トイレ洋式化修繕箇所	箇所	目標	0	0	19	0	0			
	1		直 の	実績	0	0	19	0	0			
\-		(指標の説明)										
活動				目標	0	0	0	0	0			
動指	2			実績	0	0	0	0	0			
標		(指標の説明)										
1214				目標	0	0	0	0	0			
	3			実績	0	0	0	0	0			
		(指標の説明)										

5.	平点	成30年度の事務事業実放				な的に記入(予算	[事務事業の事	業概要と連動)
			【問い合せ先】学札 【10次総の施策(30-8404			
			【事業の目的及び対 各小学校に日常的		₽の不具合につ	いて修繕を行	うことによって	て、安全かつ
			快適な教育環境を研	確保する。				
			また、消防用設施 より、火災等の災害	備のうち耐用年数 害時における屋内				万することに
			【事業の内容】					
			消耗品費 : 原	床ワックス、蛍光				
				硝子修理、経年劣 校庭の土 ほか	光による 合種	設備の更新に	ほか	
				消火器、消火栓が	ィース			!
	į	事務事業の実施概要	:					
	_		<u> </u>					
_		·· · ·	-					
6.	<u>活</u>	助指標の達成率 【CHE 力	ECK】 指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	$\lceil 1 \rceil$	トイレ洋式化修繕箇所	IH IW H	1 100	1 122	100%		P In Co.
標	\vdash	 			<u> </u>		<u> </u> !	
達成	2			!	·!	!	'	
水率								
<u> </u>	達月	」 b率は指標の目標値と	と実績値により算出します	 上 目標値がOの	年度は表示さ	」 されません。		
				0 H I// I—	T/X100 24.00 =	74000 E 100		
		画【CHECK】 画項目と評価の視点 ┃	評価内容		並価理由(┋	評価の視点を踏っ	(士ラで記入)	
\vdash			□ 1. 計画を上回る	+	計判生出心	ド川リバルホビッ 目	まんし記八	
	+	- 度計画の進捗度	■ 2. 計画どおり					
当該全	年度で	予定した事業が3月末時点でどのよ	□ 3. 事業未完了					
		況となったか。						
		事 主 <i>() b)</i> 上	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る	٥				
			■ 3. 概ね目標どおり					
満:上 「50%	E回る」、 6~ 809	」、「80%~100%以下:目標どおり」、 10%未満:下回る」「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	_				
下回名	:* [دُ	《最も達成度の低い指標で評価	┃□ 5. 目標を大幅に下回る	<u>) </u>				
	*= ar		· -					
8.	事業		後の方向性【ACTION】 ┃■ 1. 拡充 ┃	■ 1-1 意図的	一步本	□ 4-1 意図	网站に縮小	
			□ 2. 改善継続 [□ 1-2 制度的	に自然増加	□ 4-2 制度	度的に自然減少	
				□ 2-1 手段等			年実施等、意図	的に休止
				□ 2-2 効率化 □ 2-3 他事業		□ 5-2 意図 □ 5-3 制度		
	——		建物の老朽化による劣化事故、学習					
(Г4	今後σ	の方向性」を判断した理由が	l					
171	1,00	よう、数値等を用いた具体的	1					

事務事業コート 032800 重点施策 ひとづくり 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 小中学校施設長寿命化事業(仮称) 所属名 教育委員会事務局 教育総務課

1	其	太	恄	報

☆ 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置では	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	き、すべてのひとが	事業期間	平成30年度 ~ 令和3年度	
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづくり	根拠法令、		
けの	施策	1102	教育の充実・郷土愛の	醸成	根拠法市、根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山凹寸	
目施 目策	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合			85%	90%	事業分類区分	建設、整備
標の	不登校児童・生徒の出現率			3.60%	2.50%	運営方法	直営
0)	放課後児童クラブ数・受入人数			2,321人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 大規	規模改造事	業費(中学校)			予算事業コード	01-09-03-03-34-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖東中学校校舎
意図 (どのような状態 にするために)	老朽した校舎の耐久性を高め、建物の機能や性能を現在の教育環境に適した水準まで引き上げる。
手段 (どうするのか)	校舎の長寿命化改良工事を実施する。

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画 年度別実績				①長寿命化改良設計業務	①長寿命化改良設計業務	①長寿命化改良設計業務	
					①長寿命化改良設計業務			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)		0	0	12,737	0	0	
_	直接経費 A		0	0	9,840	0	0	
事業	±+++47	国∙県	0	0	0	0	0	
書	直接経費の財	地方債	0	0	8,800	0	0	
_	源内訳		0	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	1,040	0	0	
	人	牛費 B	0	0	2,897	0	0	
曲	員数の	正規職員	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	. 10/	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

					[PLAN·DO]						
		指標名		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
	1	長寿命化改良事業進捗率	%	目標	0	0	0.5	0.5	40		
			/0	実績	0	0	0.5	0	0		
\-		(指標の説明)									
活動指標	2			目標	0	0	0	0	0		
				実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									
	3			目標	0	0	0	0	0		
				実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)							·		

5	亚口	成30年度の事務事業実施	施概要【DO】		※前年度の	取り組みを目休	的に記入(予算	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(うら) 業概要と連動)		
Ë	' '	2000 <u>中</u> 及07 <u>年初</u> 7 未天//		t先】学校施	设係 0857-30-			·	不''', 女已是到/		
			【10%	【10次総の施策体系】1102							
				【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:6月補正予算・P48(教006)							
			構造体	【事業の概要】 構造体の耐久性の向上やライフラインの健全化、また、現代の社会的要請に応じた多様な学習内容等による教育環境を確保し施設の長寿命化を図る。							
			長寿命(事業	【事業の成果】 長寿命化改良工事に係る設計業務の実施 (事業の実績) 平成30年度 湖東中学校長寿命化改良実施設計業務 9,840千円							
		事務事業の実施概要		後の課題・方		2.後の軟件制画	*************************************	の亜維ルを図っ			
			長寿軍	長寿命化改良工事の実施箇所と今後の整備計画をたてコストの平準化を図る。							
_											
6.	活	動指標の達成率 【CHE	CK】 指標名		亚世20年度	亚式20年度	亚世20年度	亚式21年度	△和0年度		
H	1	長寿命化改良事業進捗率	旧保石		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
指標	Ľ						100%				
達成	2										
率	3										
Ж	達月	」 成率は指標の目標値と	:実績値により	算出します。	目標値がOの	年度は表示さ	れません。				
7	証値	西【CHECK】									
	評価 【CRECK】 評価内容 評価内容					評価理由(評	平価の視点を踏	まえて記入)	_		
在耳手叫(/)难按耳		□ 1. 計画を上■ 2. 計画どま		校舎改修に係る施工箇所が多く、施工方法の検討に不測の日数を要した。							
3. 事	3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。			-							
当該											
		事業の成果	□ 1. 目標を大								
			□ 2. 目標を上■ 3. 概ね目標								
満:」	130%以上: 大幅に上凹る 、1101%~130%末		□ 4. 目標を下								
		0%未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に ※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大	幅に下回る							

	■ 1. 拡充	■ 1-1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	観点からコストの縮減や予算の平				、学校施設の現状と課題を把握し、総合的な